し六百萬人を失い、曖野の結果で に際し軍費四百億ポル費消し、死 に際し軍費四百億ポル費消し、死 に際し軍費四百億ポル費消し、死

有する、六千八百萬國民の欲求で は、メルカン化されない事實こそ は、メルカン化されなヨーロッ メの不安定の根本原因である さ整明した、これ優秀な技術を さを明した。これ優秀な技術を

展上に提携されたナチスの鍵を引 明波した、これに黙し同市駐在國 野歌能委覧はこの髣髴組合本部の の場合を開合していましています。 の場合を関する。 の場合を関する。 の場合を関する。 の場合を関する。 の場合を関する。 の場合を引きる。 の場合を引きる。 の場合を引きる。 の場合を引きる。 の場合を引きる。 のの場合を引きる。 のののでは、 ののでは、 の

滿洲國侍從武官

0

丸氏來任

獨自の信念を語る

京都を買ふ、三十六世の

さびん鬼で来逃したが、船中で 満洲は初めてではない、二十年か 前大連碇泊所司令部に帰してぬ たので、単頭を眺める時一木 ものだ、今単頭を眺める時一木 ものだ、今単頭を眺める時一木

大思ったら変異ないではないであるから動では、かされて居るから動で、時々息だけは吐って

一九三〇年には六千八百萬に増加 を整いには多大の無理な恐ばればナ を整いには多大の無理な恐ばればナ を変ふには多大の無理な恐ばればナ なりなかつたのである、さればナ オテス・ドイツの國際吸証順ち観土 を変ふには多大の無理な恐ばればナ

ダ市のドイツ係合への一歩こ見た 下すここを同市官部に要求した、

歐洲の不安激化

らされば、その胤祉を解明することではも右の諸問題を吟味するにありなるとの職職を吟味するにありなるといいます。

ために全く自由なグデイニアとこ 自國の

趙立法院長渡日

辰

さは出來ないので

院あり、突然前途極めて悲酷的で、原文十三日養國道』北魏援渡に

一、滿洲國は蘇政府の北緩所有權管局に對こて

價額は五千萬圓な一歩も譲歩

指ぐれば次の如くである 本語・開闢主張の軍大相 は、現の軍大相 は、日本の本権をは、日本の本をは、日本の本をは、日本の本をは、日本の本をは、日本の本をは、日本の本をは、日本の本をは、日本の本権をは、日本の本をは、日本の本をは、日



行發日四十月七 昇 木 鈴 人行發 治代喜本橋 人輔編 盛武 村本 人刷印 地番一冊町闌公束市連大

譲渡價格交渉に移る

ふの北鐵第五次交渉

社報日洲滿社會式株所行發

中看版

本山標語園ニ五七〇番大阪住吉属アマノ筋四大阪住吉属アマノ筋四大阪住吉属アマノ筋四

第二回移民團新京神

を新り直ちに十時發臨時列車にて喋々もくハルビへ 参拝 第二回移民働は十一日着京十二日

鄭國務總理

要以上の斡旋な拒絶すべき旨を表しの非現實論には顕確決意を示し、日本政府の必。この滿洲國の接取の用意な進めついあり、この滿洲國の

ては顔る強硬態 る方針を一概するに決した

改編後の差

男軍は

繰縣と豐潤に駐屯

接收委員唐山へ向ふ

て願京廳部内庭時職員設置総中央

して云つた。 して云つた。 して云つた。 して云つた。 して云つた。 して云つた。 した過すなんで好があるかい」 でないこすれば誰だらうり神でないこれば誰だらうり神でないこれでいる。 し思へた。 が、ひどく趣の好いここのや。 が、ひどく趣の好いここのや。

へしかし、今來た客が、創子さん

神田さ

遊びに来て臭れさうな気もこたが

人なことを空想すること

ほんこん丸船客

ご蘇滿兩國が特別の協定を行ふこと 蘇側の主張する金ループルをそのまゝ受諸するは滿洲國側の到底容認じ得ざる所なるを以て、日蘇瀛區料支拂の際に得たループルに評! 價貨(幣の)相 場を如何にするか

一價格の交渉に移る諒解を遂げるに至つか、師ち嬢遊館核については滿洲國順は五千萬國長を訪問と時餘に真り態談でることろあつたが、右の結果十四日の會議は所有機問題は一先受渉の蘇滿帆代表は今迄の休食中それでへの多邊的抗衡を續け十三日はソウエート大使館参事宜スピルワネツ

斡旋の時期に達せず

天羽情報部長八

公式に聲明

三、二億五千萬金智はこの見地に 基本算出されたる四億五千萬金 智より 大まけに まけた もので ある ある

[天津十四日餐園通] 養男軍處置 「本日午前九時天津東站餐店山へ 電調築並びに日本側代表柴山中佐 電調業並びに日本側代表柴山中佐 では本日午前九時天津東站餐店山へ

際に組成の客で駐 脚側代表電影楽、映画等の一行さ 関近の石友三部隊 大港の長平丸にて陸連平池方館の 大の解散 豊は約 大港の長平丸にて陸連平池方館の ては目下協議中で 大港の長平丸にて陸連平池方館の ては目下協議中で 大港の長平丸にて陸連平池方館の ではその牛教三千に れから特別列車に東げて天津に になの牛教三千に れから特別列車に東げて天津に 向つた、大津で自分は除りたが 舞頭には支那代表一台歌迎の知 舞頭には支那代表一台歌迎の知 な空瀬は大體大連合議の結果に り、ここ者ととてもる遠子であ

「東京十三日養國道」外称當局が北郷護渡突然を成立に端くため満洲國振察襲澳價格五千年、天邪懷華部長は左の如き公武繁明な要を表した。天邪懷華部長は左の如き公武繁明な要表した、天邪懷華部長は左の如き公武繁明な要表した。 大衆別懷華部長は左の如き公武繁明な要表した。 日本 政府 は 價格 其、他 に つき 未だ 幹 旋の 時 期 に 達 せ る もの と 認め ず、 妥協 條 項 に つき 未 だ 幹 旋の 時 期 に 達 せ る もの と 認め ず、 妥協 條 項 に つき 未 だ 幹 旋の 時 期 に 達 せ る もの と 認め ず、 妥協 條 項 に つき 未 だ
・ 大衆「韓華郡長は左の如き公武繁明な要素」と

萬人の中四千

は、インワシントン會議においては、那)領土に建設されたる商業機といった。 まつて居る、對佛債務が推薦したに止まらず常時蘇政府は何れの國家からも承認されて居な、 まつて居る、對佛債務が推薦したに止まらず常時蘇政府は何れの國家からも承認されて居な。 かつた。 まつて居る、對佛債務が推薦したに止まらず常時蘇政府は何れの國家からも承認されて居な。 表の一方的な所有機主張な否認

塘沽會議再開の

必要はな

支那側の協定實行を

價格は譲らず

必要以上の斡旋は絶對拒絶す

満洲國側の態度强硬

空氣 の見聞談

喜多關東軍 視する整倍だ である軍さらて代表は何までこれ である軍さらて

連港外音像定

▲松本盛四郎氏(大阪遞信局技師) 長)十四日出帆うちる丸にて橋康順氏(淅州岡實業應總務

氏 (滿洲國交通部工務

けさ新京發、大連經由

ス (日本の憲法院長地院) 一次通興部總長、金市長、全佐美宗に就いた、縣誠には日本館 なほ氏は察元に職く際在の上二十一次に就いた、縣誠には日本館 なほ氏は察元に職く際在の上二十分に就が場合。 (1) 本館 なほ氏は察元に職く際在の上二十分に対した。 (2) 本館 なほ氏は察元に職く際在の上二十分に対した。 (3) 本語 (4) 本館 なほ氏は察元に職く際在の上二十分に対した。 (4) 本語 (4) 和語 (4) 本語 之所偷 0

殘らず美くしく毛が取れます。

エヴクレームを塗り、三分間除 りの後に水で洗ふだけで一本も

三門八十

脱毛美の流行時代をすら現出しました。

てから女性の素肌が美化さ

世界的に

事實、肌を売らさない脱毛劑エザが出

毛も取ることが置人の身だしなみです。 身美の夏、大膽なる姿態美の發揮には腋せ、どんなに曲線美を殺ぐか? 特に裸 院や脚や首筋の濃いムダ毛は肌を黒く見

西では宋子文を張學良、東では 解るつて。鬼に無、お通ししますしゃらないのですよ。取り次げばしやらないのですよ。取り次げば、おって、名前は?」

中では、やつばり、

せて、根皮がこの梅屋に来てから、 を思ひ深でてゐた。 を思ひ深でてゐた。 を思む深でてゐた。 を思む深でてゐた。 をがあり、新鮮な無比が衰へた彼があり、こんしてかき出る温 子のこさ して持つて居る感情に違ひなかつ 来て臭れるんだからな) てるな。こんなさころへわざく へじかし、 鮎子さんが來て臭れた

ですよ。配も、概念さんには聞い ですよ。配も、概念さんには聞い でするさ、やつばり、鰡子さんか「鰯つてるぢやありませんか。女 出来る際はなかつた。 出来る際はなかった。 出来る際はなかった。 きう読ふさ、彼の胸は妙にさき舞びに来て臭れたのか知ら) 知らりは子さんが、約束減り、見いてるさ、やつばり、約子さんか 、健康関係が空間でるほど、健康の合伙と



あうちに、草屋 所下の外に近常 **ザエックレームと制指定あれ** 模倣品あり、お求めの節は必

到るととろエザの様でもちきりです。――この頃のエザの評判といったら大穏です

「されいになつたわね。」
「あっら、あなたとそ。」
「ほゝゝ、相懸らずお上手ね。」
「ほゝゝ、相懸らずお上手ね。」
あてゝみませらか。」
あたしだつで、あて、みせるわ。ちよっと或る物を塗つで、或み物を落しただけでせら。」
「まて、阑風だわ。……お互ひに期せずしてエザ薫になつてあたわけね。」
「モうよ、エザ鴛鴦を載!」

から全身へと移りました

なたが縦枷にいらつらやれば私もっなたが縦枷にいらつらやれば私もってるがいわさ前つてるれば彼女のことを懸ひ出した。 夏です!

彼に取って、この三日間

た退風の中で、

は、また形だりない思いの がらだな不精に起しかけて 訊、 な単調な時間でもあつた。 「お客様?何さ言ふ人?」 「ないか、この三日間でもあつた。 「ないか、この三日間でもあつた。」 「ない。」 「ない。 「ない。」 「ない。 「な、 「ない。 「ない。 「な、 「ない。 「な、 「ない。 「な、 「な、 「な、 「。 まに、生れて初めての心酔かさな、 実に、生れて初めての心酔かさな ない放浪で労働さの中に過ご これ法の年生を、せは Ξ

宮ノ下の宿

第一回滿線々道部旅客事務打合會 相上日繁業、自井監督・東場各主に 名、計四十五名および本味順潜水次長 一日繁業、自井監督・東場各主に 一日繁業、自井監督・東場各主に 一日本本、自井監督・東場各主に 一日本、自井監督・東場と等二十 名、計四十五名夢集、先づ清水次 大方清水次

り、繁業課長を議長さして直に議といっている日の繁業課長の訓示ある。

旅客事務會議

通 ● 編野繁勝氏(本社編輯局長)十四日はさいん丸に ● 高塚源一氏(満洲 公 論社長) 中の所十四日はるびん丸に ● 高塚源一氏(満洲 公 論社長) 一 同上

マトホテルへ 十四日朝 庶務課長)

は石丸氏)

隨行の兩氏けふ歸任

光榮を語る

學徒研究團の

Ⅲ盟の 意を表は Ⅰ

貫行性がある

生産黨の誓約書發見

ででそれを中心さして十三 大型・監察を持ては連目取り成り周志間の参えの大衆能震を を変の詩より採つた教を要とはです。 の内に同志間に取交された。 の内に同志間に取交された。 変のかより採つた教を要とはつて守る。 ででそれを中心さして十三 大の事性は父母兄弟にりさり、ででそれを中心さして十三 まじく候也して、尚「同志の契約を なるが十一目をアチ との事性は父母兄弟にりさり、世 ででそれを中心さして十三 まじく候也して、尚「同志の契約を ないらす萬一空権れし場合は八ツ でもいを中心さして十三 まじく候也して、尚「同志の契約を をいるが表とするの様ある。 ないらず、一直での様の。 ないらず、高いでもの様の。 ないらず、高いでもの様の。 ないらず、高いでもの様の。 ないらず、高いでもの様の。 ないらず、高いでもの様の。 ないらず、高いでも、一直、の様の。 ないらず、高いでも、一直、の様の。 ないらず、高いでも、一で、一直、の様の。 ないらず、高いでも、は、一直、の様の。 ないらず、高いでも、一直、の様の。 ないらず、高いでも、一直、の様の。 ないらず、高いでも、一様で、 ないらず、高いでも、一様で、 ないらず、高いでも、一様で、 ないらず、高いでも、一様で、 ないらず、高いでも、 ないらず、高いでも、 ないらず、高いでも、 ないらず、こと、 ないらず、こと、 ないらず、 ないらが、 ないらず、 ないらが、 ないるが、 ないらが、 ないらが、

緊張を示してゐる。

電話は本山午前十一時中十四日愛國通』東京京は

らみに偽造の



地が一で三ア人は天津ファンスキー(ころの南

▲三 等 三九八四六 ▲三 等 三九八四六 ▲三 等 三九八四六 ▲三 等 五五〇三、三二八〇〇八、 三五三九九 三四七五、一三六 九九、一五二〇三、三二二三八

一時に至り無く驚迷惑に差したよ 結果食社側の大護歩で十四日午前 に東京社側の大護歩で十四日午前 は、の十一時間餘に取る挑䴘の は、の十一時間餘に取る挑䴘の

取調中

名

第九回彩票

(4)

高基長 基 基 経 着 着 養 養

七月十八日午前十時七月十八日午前十時十八日午前十時一泊

當籤番號

桃色爭議

並特

第 三 ○ 等 三 ○ 長 終

並等 五五五 顧圓

第九回彩票當談番號

解決か

松竹が大譲歩

汽船株

大會社

來る十八日大連上陸

日程

子で男はダンス教師と称して帰るたが、それが家出した品子と

列車内に怪盜出沒

新京、大連間

で一、二等客を狙ひ

一十餘件に上る

一百五十餘圓を寄

ご出帆間際騒ぐ

遺骨凱旋日程の **新京電話】故坂田大佐の遺骨は**

市の風雪後晴 ・ 神楽字前 | ○時二五分 ・ 一〇時二五分

NO樂團





重秀•龍秀•奴妻 9+ ●夫利平松 **图 樂**•○•N

國産ニットーの一大迫力 地味で堅實を誇る… 地味で堅實を誇る…

切封日近

書映唄小マネキ塚寶

特別では大会で記り 京花吹大舎は十五日土曜日午後五 ムス社の毎年恒例さなつてゐる納 ムス社の毎年恒例さなつてゐる納 滿 御

を 0 んだ

頭の軽い 朝

きぬ名残

N松由 〇平良 樂利和 團夫子

禮 二日目又々 大好評の大好評の B 活 館

第一生命保險相互於大連支部

外務社員招聘 土を求む履歴書送付又は御持參のこと 土を求む履歴書送付又は御持參のこと

これだ――これだ、高人請君等に小武でやれて鷹げる野山大路であるた路町が開る記入な中國 大野保護タイムス呈上 田商人以外は跳耙

◆出發時刻は七月十六日午前八時三十分

面白いぞ!

歐米の體育視察 けよのはるびん丸で歸任

 (\Box)

東邊道殘匪討伐に從軍した

外國新聞記者語る

井上司令官

また安奉線

ス教師が

の春』を蝕む

廣島から娘二人を誘拐したと

からない

が十四日はるびん鬼にて来連らたが十四日はるびん鬼にて来連らた。

親元からの捜査願

华

長崎直

小林胖生氏 砂丘研究に

和複

小林少佐に護られて凱旋するこ 滿藝妓歡待 御希望に依り日、

味に全力を捧げて 料理人を雇入、 理新たに北平より

室全部改

御宴會向各種御料

河

152 158

189

200

御照骨下さい。

イン店主党會の下に厳正なる抽籤の結果左七月十四日警察官、養新聞社員、ペルトラ 會部連大會協ンイラトルベ永森

(中元大賣出し開催中に付本月の定休日に限り十七日) 洋

ないだらう」で選して上陸した のだから繰り忙しい仕事には向か のだから繰り忙しい仕事には向か

でウンで健康の参考者を持つためた見て來てくれさの事だった。他人に他へる運動すら起してゐる

海水沿用品。御用は……浪華洋行

明十五日(舞を休日)本月に限り平日通り營業仕候

七月十四日警察官、

品神く描を情純の戀いし悲の人藝女るれ流へ旅らか旅

ら來機好び再

识

切封日四十

七年八

のさいふ語様を見せませう」 といふ語様を見せませう」

和は嘘かいは

ではい、あんまりのやつれ方に、 類が強くなるほご続きました」

おぎんはそつさ

れだけ云つておいて、

なるでござんせう。少し心様が網まりさへしたら、私がきつさ、折った見てあばしてあげます。こ、、111か三日の間、窓からうが、空地して下さいまし」

文樂座の

の外の

よいか

人事百般

まりさへしたら、私がきつき、抗なでこざんせう。少し心様が翻れるでこざんせう。少し心様が翻

お鑑が、監整を持つて來て、 高いさころへ、 顔をのぞかせながら
こころへ、 顔をのぞかせながら
で五郎兵衛ごの」 さ呼んだ。
返事はなくて、何かを投げつけ

立つてるた。二人は座敷学の外に

五郎兵衛の配暴緩離をこり割る道具につかばれたさば、おぎ

元の部屋へ戻って

やかせます。

。 ざんな 発掘でもいた

「五郎兵衛さんの顔を、見ました

なに改まって難

お銀とお濱(こ)

Ш

蘆江

作

飾くまでゆきこざいたお遊だつ

(136)

に、ゆく先々まで面倒がかいります。こ、四五日が空抱ぎころですから、萬事は私に任して下さい

性相學者の權威

土師日聖先生

隍

ゆるしてはならわさ、思ひゆるしてはならわさ、思ひゆるしてはならわさ、思ひゆるしてはならわさ、思ひ

パス付…………

五四四三 園 五 十 園錢園園

毛生え楽 士創製の

名の兼ち待おた SER!

ウヒ . > 9 品督監氏

エリアヴュシ・スリオモ ーパーク・ーリーゲ 別特 ドツへクンパ・アラルタ ルエベルコ・トツデオロク イネドシ•アイヴルシ チーマ•クツリドレフ スムーホ•スプツリイフ クツルブ•ガイラク スルグツラ•イリーアデ ーキーオ・ケツヤジ



時たし見發をとこるあて諜間の敵が妻新

?かたつとを度態るな何如は校將の逸獨

メロン 水 蜜桃 中元の御贈答に是非 +



湖病消温!宇留神湯

ニワホテル

日本橋薬局

今日より滿博開會中 石の御宴會に對しては 夏の御宴會は凉し 博多水たき 原價切つてのがいの亂 時に却て面白いた。 サ イダ 酒飲放題 女中祝儀共 Vi 女中祝儀共

サービスが行届で一割チップなこと位置は第一等御便利な所にあること字料の低廉なこと

ナニワホテルの特色

會席・・・・ 亂 賣

賣(値段は申さず ろ 御一人様(二**圖三十錢**) 五人様以上 御一人様(二圓三十錢) ではせ本 人樣(二圓二十錢) 点店

Ħ 入着 荷

7 IV の資番組 ガ 朝』 鮮。

大映畵併映

續映!

檢一 夏 査等 い 産り 原 四十五

世二百二百二三 ≖店

五四

日日

野良氣分たつぶりな

盆

踊

楽店に販賣す

大連電園下

P

入錠〇五 鐵五二 入錠〇二 鏡0八 入鏡00-

俄然!夏の話題は提供され 今晩も是非お早くから 大檢題人數十名出演

御禮

(總指揮)藤間勘奈津師 ました (催開)

錢十四金料

仕奉の低最

り限間日三でま日六十

車は更に注意を除行して、呼海線の終點たる馬艦 、呼海線の終點たる馬艦

電子體の**要成**を来すが、 競道が出来ることはを

盛衰な魔で、

齊克、海克、呼海

北滿三線の旅から

三線背後地の將來

特派記者 和

左 (低資百萬圓融通を契機に都市金融 の儒揺置き擔保吏師と不動とり三千圓に、擔保貞二千圓 に熟除に定めある金融組合に黙すまり三千圓に、擔保貞二千圓 に熟除に定めある金融組合に黙すまり三千圓に、擔保貞二千圓 に熟成に定めある金融組合に黙すまり三千圓に、擔保貞二千圓 に熟成に定めある金融組合に黙すまります。 これに對して夢を記述している。 これに對して夢を記述している。 これに對して多い。 これに對して多い。 これに對して多い。 これに對して多い。 これに對して多い。 これに對して多い。 これに對して多い。 これに對して多い。 これに對して表記。 これに対して表記。 これに對して表記。 これに対して表記。 これに対して、表記。 これに対して表記。 これに対して表記。 これに対して表記。 これに対して表記。 これに対して表記。 これに対して、表記。 これに対して、表記。 これに対して、表記。 これに対して、表記。 これに対して、表記。 これに対して、表記。 これに対して、表記。 これに対して、表記。 これに述して、表記。 これに述りに、まれに、表記。 これに述りに、表記。 これに述りに、表記。 これ

曾屯金融組合

滿洲

運賃品騰 六月中魚市場市況

引つゞき好調 電さ数量において二割六分強金額 ・ 決態は地物は前年同月に比し数量 ・ 対象を表しい地で朝鮮輸入物及の

満洲國政府が

輸出入共目立つて激減

までの製計、単位は銀元) 製類及粉類二、七三一、一二 果實 七、六二 ・一二三元

進麻絹綿紙紙(紙) 重要報題在頻煙 物品 草

商標法設定を急ぐ 高橋總務司長十四日



斯波博士が

内地側ご折衝

満鐵の新規事業計畫で

心に内地側

日日被國面」満洲に於け一間斯波忠三郎博士を中心 を記載了講解を主教さして 「職好工業等に對して 「職好工業其他養々難」の主なるものは 本であるが、最近更に整金 本でかきニエーム工業 へるるが、最近更に整金 本でかきニエーム工業 本でかき、最近更になるものは 本であるものは

では、 変にはいくは 変にはいくは、 変権の生

をは去年のこの頃に比べてザつ き三分の一繋、日産せいぐく一 き三分の一繋、日産せいぐく一 も支那歌所の邦貨派房を標用さ する部型開税の影響さ、キーコ は内地農村の後繋からなる品布 に関する。

◆定期前場(単位錢) 等付高值安值大引 期近1億名15,200 10億0 10度0 用來高期近天百七十九萬圓 ◆現物前場(單位錢) 經對金銀對洋金對洋 等付10至0 10至0 11至0 十時10至0 11至0 11至0 十時10至0 11至0 11至0 十時10至0 11至0 11至0 十時10至0 11至0 11至0

買買受渡高 四日限特產 前月對各品共減少

金 票 (現物 100°40 100°40 金 票 (現物 100°40 100 自 隆 公司 電話長八三九回番 電話長八三九回番 大連市崇里二番地

福 沿線各地の御用命は 大連市山縣通り 國際保 運輸 最寄店折 ~… 電話三五一番

皮 軟 た 性 素 病 病 病



今日の映画

雪女歌舞伎

二大新作と併映日延

RR

では、 ・ は、 ・ なり、 、 なり、 ・ なり、 ・ なり、 ・ なり、 ・ なり、 ・ なり、 、 なり、 、 なり、 ・ なり、 ・ なり、 ・ なり、 、 も、 、 も、 、 も、 ・ も、 ・ も、 ・ も、 ・ も、 ・ も、 ・ も、

五三一十十七現 月月月月月日初 棉

東京株式

中限的場合的場合

真施は早くも

底意低調さの観測は結構。 れ活然を記してる関係引つどき 買氣ありて

汉中四中

産

入集修理 大豆强調

中央旅

ŔŔ

式出

九三、一〇〇枚 一、五七〇枚 一、九二〇枚 一、九二〇枚

料金三十錢 廖

15881888

ーキートルーオ ● 中時2前午 = 演主梅紅川市 孫郷 + 園 日 博勇双安慶縣 置 監 切 路のけ明夜 饕 覧

第二回 元州公分至 第二回 元州公分至 第二回 元州公分至

銀塊及為整備教銀塊 (十四日) 金銀塊及為整備教銀塊 (八片分型 (八片) (八十四分 (八十四分 (八十四分 (八十四分 (八十四分 (八十四) (八十

十四日四二日間

位制に大蔵當局の意向 船のみで三隻の成績をみてゐるに昂騰した、七月満船積は山下りて二十シル甲から二十三シル 介國船員會館 物論の外國船員會館

入野菜で騒念する見越しの買物あ 各國領事、主要汽船會社際市前入豆運管はドイツ政府の輸 委 員 ンス氏 太古洋行 ダウレー氏 英國領事 デニング氏 英國領事 デニング氏

大型に南東方館の輸出困難 に南東方館の輸出困難 に南東方館の輸出困難 に南東方館の輸出困難 があしまた高緩 が少に一貫油平均債額

當然延期か

金組組織

地輸出人に對しては使法さして包一
あるが、競券取引に関する分は内
関東州内における貸券管理令の施 櫻內五品理事長談

關稅障壁の現在

大に滿洲に進出したい

者來連

一般製部運作係長外出品 南東像附近に於て支那汽船圖南號が継承の海外へは多数深速したが、先づ髪、で観光構像を受けた大冷長春鬼は大路で、進出して来たが、先づ髪、で置五千圓見當さ見積られ三週間では東は真接痛洲へ進出 を要する見込みである

一 本語 (日本) 11(20 11)(

滿鐵林(保合) 東短前場 株(保合) 滿續美株/寄六十九圓九十錢大阪短期

F

綿糸保合

品

体市はり十四日まで と士博ルキジャ 氏ドイハ

腔外科曲 科般矮正科 科

一歩さも観るべき駆跡自治運転の無いの一角に突如満洲国合體の一角に突如満洲国合體の一角に突如満洲国合體の

車閥の消費

佛、蘇の兩提案に

委員會招集

俄に活氣を呈す

經濟通商委員會

一元歳したさは各方面の「の經濟通融委員会はこの一般の印」十三日發國通」經濟會「一致した意見だつたが、本日午前

カのここ ・実哲元か復職せらむるここ ・実哲元か復職せらむるここ

任せらむ

無益な抗り運動が即時停止の

の問題にして各方面の注目な恋いの合物に対象するは最早や時期のでは、

を一、馮玉祥は抗日同盟軍及び總司 令の名義取消とに關と通電ル登 面 するこさ で 有二項ル質行の上は宋哲元な で に當らもめる。

湯玉麟に慫慂 馮軍に参加を

密雲縣政自治運動

国新京十四日登園通』 満洲園に離れる。 して満洲園に遺はした淡玉蘭は現 を四千餘の手具を率る多倫洁源の 中間大灘が近に在るが遮玉縛から 中間大灘が近に在るが遮玉縛から

満洲國合體の第一步

彼等の行為全人就意なく且つ満洲國の平和を能し將父果洋平和に職びを及ぼすものであるさ關果軍では嚴重監視中である

經濟會議廿

休會

立式に發表

鎌の價値の莫大なるな高調とね 四、ソ聯は今日の反駁中類りに北 回に説明するや

作用的 徐振に肺病のクマク神経病・勝鳴時間に対して大照屋薬店外用諸病傷の卓効薬あらゆる服薬や其他の療法と同等対策

何應欽、馮討伐を開始

馮代表との折衝經過

れた | 「ロンドン十四日發國通」 經濟會議は愈々來る二十七日本會議を開 | ロンドン十四日發國通』 經濟會議は愈々來る二十七日本會議を開

を下こりフェート代表部指案の総 集を下然と無視して、フランスの

交通審議會

第四回滿洲見本市出品

洋傘及附屬原料

上重要事項な諮問に應じ審議答一、目的・交通に関する連絡統制

「東京十四日發展通」十四日の閣一一、高勢教育及び初等教育な改善 で決定した交通審議會要兼左の一二、師範教育及び初等教育な改善すること すること

昨日閣議で要綱決定

銀問題に新代案

| 何應欽ミ馮軍代表

歌の報告を行って地事會の承認を起を残して全部の決定を見たので

意見の相違な

見たがその後

るたけの仕事が残るからそれは 委員に任して自分は一足死に歸 る、從つて七月中には交渉も響 るだらうが消滅されことで

、陸軍當局嚴重抗議

結果如何で重大決意

【北平特電十四日盤】北浦鉄路の 管官は場を抱き込み盛んに抗日反 ででは、 でで

天津蘇領

事館

會休會

極東軍司令官

無常い変那代表末子女は十一日パ 島大使十二日繋號によれば國際総 「東京十四日餐園通」在ローマ標

からモーリス・

張學良も出迎ふ

タリー皇帝が 一二首根は會か を寄った宋子

回復により再除することに決定し

・ な命でられたのでは下赴車と開館 ・ な命でられたのでは下赴車と開館 ・ な命でられたのでは下赴車と開館

を認めたるものに非ず、滿 がごて右によりソ聯の計算 大石によりソ聯の計算 大石により、職の計算 大石により、職の計算 大石により、職の計算 大石により、職の計算 大石により、職の計算 大石により、職の計算

生徒募集業次次的職员與對

英和タイピスト學院近江川、(西廣場)映築館域

「可明者支配祭二選」 撃活マニハノ番

北鐵譲渡に反對

所行發

香〇六連大座口替振

法相首相協議

地番一冊町園公東市連大

社報日洲滿戲

書に作成

優良國產

瑞穂電氣ドリル

工具店

一般工具型幾申込次第贈呈

店

各寸法在庫

瑞穗機械製作所

機成大連

滿洲總代理

店

北鮮鐵道交渉から歸つ

村上滿鐵理事語る

理事は根本問

いて左の如く

週間位で

さころには行かず病氣にか、らかつでは無い本を腹んだり詩を作って暢氣にもてゐたいさ思ふ作のでいる。 作のて暢氣にもてゐたいさ思ふ 中のさころ或群全権に會ふ豫定 は無い

議しり満聞に緊張せる論事が展開 北銀所有権を主

渡第五次交涉

左 第定の基礎さなすことに同意せ 際の採用せる建設賞を代償價格 の採用せる建設賞を代償價格

究の上次回會議に於て反駁の権法を長々意見を述べられたるさ

北鐵はソ 今や 何等層 聯側の主張を反駁 傾値なし の為に

又『政治談はお斷り』ご前提して

の銷夏法

きのふ避暑に來連

中央政府さらての態度なざら言中央政府さらての態度なざら言

は利局長官な以て之に充っ 情以十名次官、内閣書記官長、 情以十名次官、内閣書記官長、 情以十名次官、内閣書記官長、 は利局長官な以て之に充っ で記念を記る。 中で ・株成 内閣總理大臣な會長さ ・株成 内閣總理大臣な會長さ ・大蔵、建信、拓務、陸海 軍七省大臣並に學識經驗ある者 五名な民間より任命す 思想對策

中間報告 いる鬼に乗艦正午出戦の答である 日着午前十時半蘭艦りおでごやれ 単で一路満洲指して釈途に上つけつ、午後五時五十七分養特別

で駐日佛大使マルテル伯をシリ で駐日佛大使マルテル伯をシリ 滿洲研究團 東京出發 佛大使轉任 建物九百十八坪 数地 二千一百二十坪 子供用サンダル 男女學生實用靴 高級婦人靴 耐久ポストン底靴 ス 日二三 産百百 一千十 タン 大阪營業所

にも抗らず部分解ながら誘事額行 を持ちずのに捉へ經濟會談が事實上 を指し去つたこの非難を見れる於 「東京十四日發國通」長岡駐佛大 家に使れば國際職盟の支那援助特 家師に派遣すべき委員としてライ を那に派遣すべき委員としてライ を那に派遣すべき委員としてライ 聯盟支那援助

大学車人高標中別、出井中駅、大塚車人高標準人の一直、 「大学車人高標中別、出井中駅、 大塚車人高標中別、岩井中駅、大塚 に探信、暗整金を配し各別車の世 に探信、暗整金を配し各別車の世 にである。 では、一下では、 が戻き長官もいつになく が戻き長官もいつになく が戻き長官もいつになく が戻き長官もいつになく が戻き長官もいつになく が戻き長官もいつになく が戻き長官もいったなり。 武藤關東長官

)||

店

電話船場(四五六九番

大阪市東區北久寶寺町四丁目

第四回滿洲見本市出品

行詰りの打開を那邊に承むべき

現すれば札免の白年な燃料さ

青して置く必要がある、従本手 はないないの職業についても

グライ御町に石油が果してあるか 一臓器のあるこころ、たが遮ឈして一時中止さなった、一番かについては地

質學的にも色々

☆他の簡単も風を狙ぶ、飛着よっつほいのと野照の数あり▲大連

報

界各國酒類·

食料

たが、孫神の芝

亦少数資本家の經營に任ぜられ洲が未だ草味の域であり、布哇

石油、その他

を受によって同公司も常び上り近くから流州事 カマで眠びつどけた、しから流州事 カーなどの機槍も加はつて三つ巴さな 吉

一處に大矛盾があつた。尤も加いくべき差別的待遇を敢行した

なる勢力の補給に渦ぎず、兩國れ當時は、彼等の邦人輸入は單

されるやうになったさいが、今や全國的にそい

があり、日本も亦それな参酌し を起すに至った同國自體の事情

の國の黎明

ロンバイル

の將來

特派記者

て常に際意選歩の態度を執って

ふべき移民禁止法の廃止に関さ 楽頭を傳へ、日米間の癌ざもい 最近米國に於ける親日的氣運の

この時に方つて東京特電は、

新雲板橋も監然港内に包含される 大西蘭の間であったが、これた 主流の解ドックより下流は河北縣 大流の解ドックより下流は河北縣 大流の解析。

營口港の境界は従來滿續第二埠頭

常制を質権せよこの主張が起つ歐洲 各國に 對するさ 同様の割

を発するため使後料、バイロット料、研覧を出張経等が制高さなって満盤および概述が受ける不便 つて満盤および概述が受ける不便

從來の約二倍に

港を擴張

えてが多い。歐洲大阪以來の諸 で國民での感情如何に登端する で國民での感情如何に登端する

所謂新世界獨特の壯觀を呈せる た種子な、偉化し繁榮化して

如き、種族的差別観念の存在でのみでなく、實に移民禁止法のの時得は必ずらも經濟的事相

は日米關係の改善であって、

社

說

歐洲列強さ我邦さの經濟競 、あるべく考へられて居 日米間のそれが一

本さの 正面的 利害 衝突の如

入品にこて滿洲國に於て生産の一常に注目されてゐる 、事實問題さこて內地よりの輸 常に注目されてゐる 人間にこて滿洲國に於て生産の一常に注目されてゐる

液體燃料界

代用品製鋼

に成功

袋餅の新發見

林總裁哈市發

は阿國側生産 る候間にあり有望視されて居るでは探算の採 これが利用するものは益々機増でるか今後 これが利用するものは益々機増で しが五十倍の戯地で各地共二十倍 へ 打合會議 高等警察事務

税率は七月末頃發表

関東際野家部高等野家事務打合せ 会議室において会議二十五野祭署 の高等主任及び本駅より概要原 の高等主任及び本駅より概要原 の高等主任及び本駅より概要原 の高等主任及び本駅より概要原 等課長の挨拶後且下來滿中の金澤記低出席賦催された、先づ水谷高。 で、調を熱するに東油を細胞燃料で、調を熱するに東油を細胞燃料 では識さいら代用燃料について就たい。では識さから代用燃料について就たい。東海が輸入品では壊でから代用燃料について就たい。東海が輸入品で

場では重油の代りに所内副産品の

駒井徳 十五日

奉天出發

楠武一氏(大阪商船監査役)

機用を利所報安藤盛氏(撫

常 付 大 引 寄 付 大 引

本麥酒の合併評

選保(袋込) 五〇七 五〇九〇 大豆(裸物) 上型(裸物) 出來高 十車

米梁 出來不申 出來不申 出來不申

三氏 (滿纖々道部附技

船主満鐵の利益多大

日早くも瞬間の途に戦した騎井徳三氏は 徐宴は極力避けてた

に十五日午前七時歌 出震する等、氏は別 出震する等、氏は別 を一切逃げて の突撃を一切逃げて 安然のですりでは、一次に立ちりやたが一般の後でであり、一次の後ででありゃ 桑島總領事 大連通過歸朝

趙立法院長

廿五日大連出發

憲法基本研究に赴日

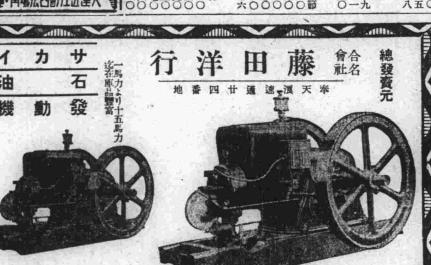
要けた天津郷領事業島主計氏は十五日午前十一時三十五分東停車場を役四時塘浩出戦の深通地で大連に向び満洲通過時期の途に就く 後低に内定し本省より歸釈命令を【天津十四日發國通】亞細亞局長

家の襲りに付訂正 家の襲りに付訂正 本一山敬三氏(滿線東京支社※理 本村仁氏(海軍機關大佐)同上 本木阿一氏(海軍機關大佐)同上 本大野雙四氏(海軍機關大佐)同上 本大野雙四氏(豫軍機關大佐)同上

▲石丸志都孵氏(滿洲國侍從武官)

服従運動をやめ 爲替安に

◆定期後場公單位終) ◆定期後場公單位終) 一時中 10萬量 15克0 11克10 一時中 10萬量 15克0 11克10 二時中 10萬量 15克0 11克10 二時中 10萬量 15克0 11克10 二時中 10萬量 15克0 11克10 11克10 當市强保合



| 東場覧を親く歴記した消滅の | 東場覧に取って新京大連間の消滅を | 東場覧を親く歴記した消滅の | 東京に取って新京大連間の消滅を | 東京に取って新京大連間の消滅を | 東京に取って新京大連間の消滅を | 東京に取っていません。 をこの沙漠の中に集めることだと、 といいのでは、 といいの 五分心原文書係主任幣同無事人連羽田鐵灣部長は十四日午後四時十 りに行かれ、いづれはポーリ 飯地さいへども疎かに見捨てるわしい日本にさつては一箇半箇の油 羽田鐵道部長

るから今後満洲國の保護さへれれるから今後満洲國の保護さへれれるから今後満洲國の保護さへれれる 食料の一部を自給するに至らうか同が成功でれば一般家古人も自家 向が成功でれば一般 てしてもホロンバイルは標節総派でしてもホロンバイルは標節総派が通の不便をもつ さものあり、甘味爾所方面に脱花ル湖の二大湖があり漁業も見るべくれにはダライ湖バイ 業の將來は注目すべきである の資格あり、滿人に王道院の素地 して感覚性かす。女母と王道の何 たるかを追々感づいて来る本語の何 たるかを追々感づいて来る本語。 での公野はいつも明瞭な銀分が流 はいつも明瞭な銀分が流

回幣費金票 〇一〇〇二三五

中

元

本各地名産

初

一二三八九

Joy of the Taste

t

日

は勝手乍ら

y

B

金票 100、五0

悪な視覚だからた

で行はれてるた様様であるから、 今後清洲西がこの方面の間後にカった入れるこ共に意外の質廉が養見される日も遊しばあるまい、ジャライノールの石院は東支郷道の敷 デールの石には東支郷道の敷 でいる はっしょう

つた、同院の埋蔵量は二億戦さい掘で少量が出してゐたに過ぎなか さひ北鐡買收が成立するもホロ

度々解へられ、満線の地質調査所 はいきの暇は事態前二三年前から しいきの暇は事態前二三年前から

ルの地場用さなつてるたが露支粉での際ソウエートは自國版を北浦 等の際ソウエートは自國版を北浦 に管込む目的で本総額。知识 で坑内掘りか復活するこさはまづて坑内掘りか復活することはまづて坑内掘りか復活することはな扱ど 同様さなり至うじて露天町的で本炭酸を破壊した

かけての無能は常におけるロシア かけての無能は常におけるロシア かけての無能は常におしので事態前は微 は公司の經營に歸してゐた、かく いしのだが突通の不便や危險のた いしのだが突通の不便や危險のた か十分騰くされて居らず害拉林以 かけん しゅう かける にものだが 突通の不便や危険の たいしのだが 突通の不便や危険の たいしのだが 突通の不便や危険のたいとした。

古拉林に砂金が野見されたのは十 さジャライノールの確能である。

は、「「一大連に向い二十五日の便」」
「「一大連に向い二十五日の便」」
「一大連に向い二十五日の便」
「一大連に向い二十五日の便」」
「一大連に向い二十五日の便」
「一大連に向い二十五日の便」」
「一大連に向い二十五日の便」
「一大連に向い二十五日の便」
「一大連に向い二十五日の便」」
「一大連に向い二十五日の便」」
「一大連に向い二十五日の便」
「一大連に向い二十五日の便」

高橋總務司長

断を始めんさず

施、融酸性用へん、酸脱は全く質力本の公酸に、性質に酸脱液を表する所以、性氏の反應を挑鍵する所以、性氏の反應を挑鍵する所以、性質に酸脱液を振する所以、性質に酸脱液を振いる所以、性質に変しくはない、日兵に正適質がある取らぬの野びは、もまなどとはない、日兵に正適質がある。 國新販路を南米及び北歐に求む、 を加へん、微戦は全く質力本れた爲▲日本はその方面にも 野東洋概戦事質のある際と イカルを潜んされる 一手を潜へ品を潜んされる

麻袋變らず 綿糸保合 10 九九、四五 新金票

NO. 4 104

糸 米 二二二後 三三二九 九六九 三三三 三三五五 九九五五 九九五五 九九五五 油 頭痛にノーシンの

州國關稅改訂方針 情の昂ぶり易いのは、その大因に拘ばらず、動もすれば各自感 の國題點は、彼等が臆斷した東 んや米國が卓然獨自の位置を利 現象は殊にこの傾向が濃厚にな つた。就中日米間の通商關係、 般の缺陷技績にある。況 滿電改善事

内以行十五 すらさば 中 ★車内廣告でも古に 機許の收入あるかれが夫子自らは一 止したさて大した

りでなく屋根の上まで厳告を取りてなく屋根の上まで厳告を取って居るが都市美観上如何かさ 思ふ、何子萬圓の大會社滿歌が 思ふ、何子萬圓の大會社滿歌が 思ふ、何子萬圓の大會社滿歌が で居る様で配白くない。 思ふ、一見こて乗っ 機能は改善の必要がある 用する必要がある 用する必要がある。 一見こて乗っ の中華等 ものは見る眼に不 市の歌車である廣 である廣い、僅か四 告依職者に 適

散会した、村上理事の静来を待つ「交渉經過を聴取した金問題に就いて協議され午後四時 開催、村上理事より理各部長出席の下に北鐵鑑賞上納一て十五日午前九時と 華文字な何故使 一本政治下 で、又現在の順。 上、北畿間野 なった は、いて最後的決定をみることと

かの都市で権限に廣告を取つて

からのは厳告 ●無務はであるが概じて日本人側 が不親切不遜の者が多いのは 注意で可き事だ、電車が立込ん でゐる際客が立つてゐるのに乗 を表本他の発換数を作っては如何 を表本他の発換数を作っては如何 を表本他の発換数を作っては如何 がいるる、運輸業で運転手で記れている。 電影が関が四五人もガヤノー云 質が知らの顔で腰かけてゐる

乗粉戦のサービス振りは内地い を乗粉戦さして見のがし継い、 を乗粉戦さして見のがし継い、 のみぎへす優秀なる日本人な多 づれの都市に比してし た、電局も經過な節でる事の都市に比しても悪いのは 任關東豳観測所技手 開東廳群令(十四日)

德永三郎兵

押川 峰吉

長)十四日午後四時半列車で新宮本通治氏(滿織總務部資料課 秀雄

南支筋買ひ

大豆堅調

平光治氏(準備店警鈴署長)同本光治氏(準備店警鈴署長)同場時氏(減洲航空會社理事)
用培炳氏(減洲航空會社理事)
用培炳氏(減洲航空會社理事) は確成氏(大連新聞社長)同は確成氏(大連新聞社長)同

七時五十分着列車で朝鮮よ義一氏(滿纖選事)十四日

午後七時五十分着列車で胥氏(滿洲國々務總理)十

*

*

株價批判(電声販売が適響連通) ・ 川崎 造船所株の研究 ・ 大同電力徹底的整理必要 ・ 大同電力徹底的整理必要 ・ 大同電力徹底的整理必要 ・ 大同電力徹底的整理必要 ・ 大同電力徹底的整理必要 ・ 大同電力徹底的整理必要

大六大九四〇〇〇一二三一一 一二三一八五〇〇 一二三一八五〇〇 一二二八〇〇〇

○米國インフレに躍る商品市場の ・ 大きなでは、石油、石炭、青澤では、一、大きなで、インン・村民地の、一、大きなで、石炭、青澤では、一、大きなで、石炭、青澤では、一、大きなで、インン・村民地で、石炭、青澤では、一、大きなで、インン・「躍る商品市場の)

四三元

國際情勢の變化ご

日本の生産活動で 日本の生産活動で 日本の生産活動で 日本の生産活動で 日本の生産活動で 日本の生産活動で

况件四日

市

當市低落

もので無いだ、酸

戦出するこさいなったのでは は十五日附社報を以て左の辞令

なかき起さない

して頭の地に水油をつけて

します。

● D 健用強動

歌行流

この人も増かなかつた

夢の世の あさい縁の青柳

(面B)

旅

0

朝

明·東海林太郎

• 田村しげる曲

唄・彌生ひばり

G

水などつけておきます。

す、それから地にフケ取

(三)

を 整理で である事で である事で

いっています。 いその後ずつさに概 いっても事については とっ、大分長くつざい で、大分長くつざい で、大分長くつざい で、大分長くつざい

なさい 門醫に診て

0

喜葉のかをりに

キングが放つ―― 然好評の

1

りらい来の根が此處(常然町工場) を は の大きな来柱七本 で大の男二 大柱・本が三十六貫で大の男二 で大きな来柱七本 で大きな来柱七本

のごろになってもまだっ

上の鰓駈か織ひも大墜網深的。 なつくり袴をつけるのです、総付いものであり、ほんの一寸した風 す、大声なら身文の二部を被だけいものであり、ほんの一寸した風 す、大声なら身文の二部を被だけにも裾がはだけて長端紋の削から 分さそれに約の布(キャラコで結びと解介する新型の長端紋は以 頃た裁ち前の上部を切開いて角明上の鰓駈か織ひもかも大墜網深的。 なつくり袴をつけるのです、総付

無、いなが、慢性の中耳炎の中には 悪な骨が得されていつて蜂痛、嘔 でなったりとていって蜂痛、嘔

日本毒薬會社

度まで概で轄く頭の地な

かい相で静かに磨くのです

いんになった時気

▼…夏の長橋神は大陸着に一にし、前は中橋神にスカ

フケ取りには

製飾品の動た出て事はざん 興瑞見や青貝などを使つた

には良質の胡粉或は目粉を洗ってはなりません、それ

温かいお湯や不能などで

從來の缺點を補つた

厚ぼつたくならないで大變具合が

新型の長襦袢

一寸した風に裾がはだけて

太いみ足が出ません

消費量の大牛は家庭の

一テル等で観賞或は家かよぶための 病人用に用ひられたり、一流のまるとうです。この他網院や家庭で この他網院や家庭で

の方面の消費も毎日五十年の方面の消費も毎日五十年

※全社なのぞいて見ました、幅 て貯水庫にもこたまストックがあれていりは活象圧溢の監盤町大連 すが、そこは五六月頃に楽山瓶へばかりは活象圧溢の監盤町大連 すが、そこは五六月頃に楽山瓶へが出いりません。 遊戯より消費量の方が多いわけで

お薬所即ち冷蔵用で氷をそのま

子供に與へる

▼…春 秋の單衣物の下にメ

で大ていすぐ治つ

漫畵や漫談本

保護者が注意して與へなさい

暑さも消

大連市中の消費量毎日百八十噸

いの製造元

されてるたものですが、騒迹ではこれらも繊維されて根能が派なられてのが出来てある様です、ごこの家が出来てある様です、ごこの家が出来てある様です。近この家が出来てある様ですが、騒迹では 漫識、漫談です。これまでは漫画 いやしくも見楽の異の食物でなり、鬼意の世界に擦がつて何さいつて 織込んだものや、下記なつまらのと歌、漫談に漲ろしい勢ひで小學 興味を添くために黴奇的なものを 漫談さいつたものは下り はならの間続は保障者の方が特別なしつかりしたものを吟味して内容のしつかりしたものを吟味して爽へて下さる事をお飲めとます、職者に沈つて撃科をおろそかにするこ のですから、勉強に差し障る心配 動づい新本を買ひ奥へるわけでな が、これらの本は毎日一 学養ご 云ふ非難を時々保護者の方から耳

薬所に残される氷の量は年々増加 ・ 大きなく人口の膨脹さ冷 ・ 大きなく人口の膨脹さ冷 ・ 大きなく人口の膨脹さ冷 ・ 大きなく人口の膨脹さ冷

ないさころから見てその間の口銭 社の庫から出る米の原質は一貫分目減り等か計算に入れたら製氷會 殿くないさ歩きにくいでせう、太ってゐますから前や後の中は相當 ル市のなそのま、裾に使つて腰のしたらいつそボイル地などのヤー った方女學校出の活潑な方などで

かんますの

ものでもれば身頭の極から終をおかきになつてもよいのですがボットをいってすがボットをいってすがボットをいってすがボットをいってもいってすがボットをいっている。 して芯を入れるかキャラコでし 震性の冷がとび出したりする心配 しては申分あり 200

鹿になるか 中耳炎から馬

鹿になるさ聞きましたが本常で 東が顧えません、融く行くさ馬 東が顧えません、融く行くさ馬 すが別に危険が伴はないでせうせうか、手術をしたいこ思ひま でせうか(公主領一讀者) 又このまい置いたちごうな

脳を胃される様な

うなおそれがあれば早時に手術 は手術すれば危険なごはほさん ありません(森本郷之助) 左に曲らなく なつた首 ッサージならたりエキ ・大婆無味がわるいの けるさポキノーさ速い た婆無味がわるいの けるさポキノーさ速い たりないの たりない。

早く良く効

水虫薬ポンホリン

कि

レに最も有効なる適樂なり を検な液劑水虫・マタグサ を表して後透低に富

樂 .60 價 1.59 價 5.00

發賣元

態 塩 野

蕤

商店

家庭

像防する意味で手軽い数急権の様 ▼…編帶 か郷帯される事を希 郷の傷に間に合ひますから海水浴 繃帶

先入納定指御

和朝洲久廣岡九臺西神東京

なる大きい影響

ないので子供 現在はマキコロクロームで 力さもに非常に強い 社態のものができて

その後につけ て効果があります。 たちには人気百パー ものを小瓶に入れ、 なご腰か出して

長特の手織印 るあ任實對網



近、大性、大性、美を

てます

あなたの

のま

があります、これは第一次があります、これは第一次があります。これは第一次があります。

ちなくても皆さんのお持ちになった思います何も親しくお求めにないます何も親しくお求めにな はなりませんが、整通の場合化版する恐れはありません。で傷ついた

し、そこに南が紫 最近ノ御採用先

大第御式附申上げます

製印織所

自然の個性美

タンゴドーランは

を發揮する

電路(ア) 双八(フク) 大阪市西區立
蟹が日産大阪三三六五五番 大阪市西區立
蟹郷北通六丁目 大阪市西區立
野郷北通六丁目

〇一印 継 手 類 〇一時間では、「いっちゅうであります。倒についるる許文は一つに緊張の策勝と共に其の卓越せる製作技術の研究による良品にして販賞たる側についるる許文は一つに緊張の策勝と共に其の卓越せる製作技術の研究による良品にして販賞たる側に要求各位の側依束に含め諸豊利工場から日本殺害要求各位の側依束に含め諸豊利工場から日本殺害を表しています。

新鏡夏の七色姉妹日

料粧化代近の力魅と美 明證御鉛無所驗試生衛省務內



スピード化粧の と、僅か二三十秒間の と、僅か二三十秒間の

大連・新京・四平街・吉林 大信洋行奉天 支店難貨部 率天大西邊門外大街 代間東州店內 行 **殁**变元 株式會社・宇野達之助商會東京・大阪

普蘭店愛婦支部發會式

(日曜土)

牧羊城ではなく大嶺屯であるこ

古のやうな結論であるが髪老資料

三宅教諭新研究發表

記念祭

場長濱名氏が任命された、同氏着 場長濱名氏が任命された、同氏着 【新義州】從來、新義州。飛行場は 場具演名氏が任命された、同氏者 場具演名氏が任命された、同氏者 は具質名氏が任命された、同氏者 の重要性に鑑み今回獨立飛行場 に異格し砂代場長さして顧山飛行 に異格し砂代場長さして顧山飛行 平な丘陵の上である 露國陸軍創設 獨立昇格 田指導官以下八十名は十三日同地田指導官以下八十名は十三日同地を苦しめてゐるので、慰懿經經近 匪賊討伐

傳染病患者續出 瓦房店醫院必死の防疫

日で定めて一般の衛生思様日で定めて一般の衛生思様

阿片採取期を狙ひ

小匪賊各地に横行

撫順の清潔デー

塵芥箱、便所汲取口の破損修 十二日を記しています。

吉海間に匪賊

同日午後九時頃張寧子南方十二支東南不橋子村に十餘名の城側が來

が來て質異な人質に拉致したさ二日午後八時頃七、八名の賊團首山西北方七支里尤庄子村に十

湯山城附近の狀況

彩行本版本体の電影がさんに同様で 電影響を入ても人間の能力には健 を書きれ口様で裏を

匪首殿臣一味

【 一 」 然口警察署及び地方事務 營口衛生宣傳 1. 力

共同墓地

群集中~驀1 通行止めの制札を突破して 奉天春日通夜の騒ぎ

金倉法婆を属し又典

合各宗は十三日

修問格妙光寺郷師

▲羽田滿嫩緻道部長一行

沿紡往來

海代議士 十三日安奉線にて

をつけてるる、十二日の午後八時 に整元市民が唯一の競歩道さし、 である特田通は電夜麻鯛に各種の はながグラリ解を並べて客足を表 連通まではこのために一切の取ば 地でもこのために一切の取ば をなって、一切の取ば ではこのために一切の取ば をまて」と一町ばかりは追縁したが して春日町を通過した、物見高い して春日町を通過した、物見高い して春日町を通過した。物見高い

「曹陽」 激陽管内張繁子縣西北十四支里職衆繁村王紫泉方に十一日四支里職衆繁村王紫泉方に十一日午前十一時頃続十名の販駅職入家人に食事を提供せてめたさ

・ 整弦形子の射線を選する事態はで ため其の射線を選する事態はで ため其の射線を選する事態はで ため其の射線を選する事態はで ため其の射線を選する事態はで ため其の射線を選する事態はで

[五房山] 玄房店小學校児童が旁2

海城警備團改編

今後一切能率本位に

育県其他製製して協議決定した 海城**警備圏**

職二、三を議じ り城山において

出版で都機され事態前後より非常な活動な賞し千数百の睡城で下に大活動な賞し千数百の睡城で下に大活動な賞し千数百の睡城を下に大活動な賞し千数百の睡城を

■異射前級所(大連山聖皇

大阪商船株式大連支店 電話四二三七番

海行唐山東八月十日日

ジバロ西

▲猪子滿級輸送課長 同上 ビン總領事

蔬菜を献饌

・ 下は腐敗の恐なく成 別より適かに消化容 要な穀類の重要成分 を純良な牛乳に加へ を納良な牛乳に加へ を納度な牛乳に加へ をが直蓋で牛 です赤ちやんに必 ですからでする。 ですからですができる。 ですからですができる。 ですができる。 でする。 です

乾卯 商店 の事店食料品店にあり 展诗東京六〇一〇〇番東京楽院東京市芝區田村町 長春大阪日〇八一八番東京樂院 大阪市赤十字病勢前 歌語の三式様長はテ ・ ・ ・ ・ ながのみが有い する縁大の する縁大の する縁大の

全島谷汽船連出机 競五五五四。四七一三 野町 案 内 所 科

大連發七月十七日 看 七月十七日

同阿波共同

原品より今治高濱方面へ接觸いた 原品より今治高濱方面へ接觸いた 原品より今治高濱方面へ接觸いた 原品より今治高濱方面へ接觸いた 原品より今治高濱方面へ接觸いた 原品より今治高濱方面へ接觸いた 原品より今治高濱方面へ接觸いた

可朝鲜野船慰识

● 其際高雄行 (海路丸 七月十五 ・ 上崎橫濱行 淡路丸 七月十五 ・ 中 莊 行 (新泉丸 七月十五 ・ 一 七月十五 ・ 一 七月十五 直近海郵

一日本郵船出帆

午前十一時(天

の大連

区 大阪商船出船

午前十時出帆

ESTLE MILK FOOD

職に窓内族を数せられた ・ 一般に萬職機合せ髪館見 ・ 一般に高職機合せ髪館見

ぬ

お客

かける車夫

盛夏の洋車狂躁曲

皮 膚の 兒 保護 樣 劑 00

旅順放送

明証御妨有 生先木八士博学区 生先方緒長院医方緒 月やくの御手當は……
日やくの御手當は……
は悪物です。それには水い配郷駅を育みで、上記の剛先生が御部別になります本職ののた選素を、おするめいたします。と
れは服み易い観響で、安心して用ふる
れは服み易い観響で、安心して用ふる

で急送します。
福手紙下されば辞しい説明書を奏上
はまがりになれば譲襲を別
のは登します。

誇るべき三大作用

撫順附近の

取締を願いたい」さ「御礼りからた町衛の良い様にと本人があるからこれ」の作つたものが成績の良い様にと本人があるからこれ」の作つたものが成績の良い様にと本人があるからこれ」の作ったもの他の疏楽類を十三日午前十

警備懇談會

に男子のお客に車を

患者の な末路

物の浮浪者で變り果然財産も次第に減り

患部の毒素を分解消滅して内政させずに

一七・六一八番

【撫順】千金紫興隆師劉石松(え) もあったが、モヒ中

●教前作用で ●消毒作用で

東県 三縣人に限り二割引 関山) 致じます 関山) 致じます

の情なして認められてが、情報に連行財職への招きに連行財職への招きの掛けているだとが、 來前後數回他家の物質

●收飲作用で 思部をだんだんかさくして

神戸、大阪行川崎海船軟出中

野球大會

軟式野球リーグ戦

| 月七日を以て郷立浦十周年を迎へ | 月七日を以て郷立浦十周年を迎へ | 四月七日を以て郷立浦十周年を迎へ | 四月七日を以下郷立浦十周年を迎へ | 四月七日を以下の東日本の東西の東西の東西の東西の

十周年記念

台歌心も早速これを慰天衛吃糖院 ・ と歌心も早速これを慰天衛吃糖院

旱天の慈雨

国のたのは常日から解析されることに準備萬端を整へても発生を表示して、主に準備萬端を整へても解れてものは無いて待ちゃへてもであった。 であった 推審を蒙ったのは無の形にしてあった

鷄冠山盛夏の催し

の整弦も高調するもの
定とは、それだけファントにで本社三支を観りてあるから監目に非常な時間であるから監目に非常な時間では、それだけファントにでは、まれだけファントにであるから監目に非常な時間であるから監目に非常な時間であるから監目に非常な時間である。

れて居る

海城野球團營口

樂部で製版することになつた、海 ・ 大熊 ◆一 最滞口 ◆二 最平田、五 ・ 大熊 ◆一 最滞口 ◆二 最平田、五

【関原】七月に入り旬餘に耳る殺

慈雨に甦る

一次 (海城) 海城野球駅は来る十五日 (海城) 海城野球駅は来る十五日

日滿庭球大會

待望の四地

庭球戦迫る

十六日より開原で

十二時、保安——驛十二時——

州内北部の

時 『吉林』吉林日本館育仏楽部では 来る十六日(日曜)を期じて民館 来る十六日(日曜)を期じて民館 を苦られり記し体のて日漏の観報に のみならす各種スポー のでは歴報のみならす各種スポー ののならなられるののに のかならす各種スポー

なは第一回戦の組合せい

粟輸出の斤量

統一の實行慫慂

鐵嶺商議から提案

をに大都市計畫に茶々を入れること をしたくないさの意見を有つて居 のである

大八八個一〇銭にもて從最では二一班は安陽繁煌に向った。 一班は現在が境敷を基礎さらて第一版に行動を開始したのでは、 一班は現在が境敷を基礎さらて第一版に行動を開始し各責低を要すべい。 一地に行動を開始し各責低を要すべい。 一地に行動を開始し各責低を要すべい。 一地に行動を開始しる責任を要すべい。 と、六四七個九五錢合計四五、六 一班は安陽繁煌に向った。 一班は安陽繁煌に向った。 一班は安陽繁煌に向った。 一班は安陽繁煌に向った。 一班は安陽繁煌に向った。 一班は安陽繁煌に向った。 「一班は安陽繁煌に向った。」

二、決行擔當な二班さも他の一班に案天省安圖縣野口警務指導官の安圖縣入りに際もこれを暗殺すること

蘇家屯の調査

酷熱下に働 傷病兵士に寄附 奉天に感心なお孃さん

ントロン三八本 異物派合

におれたりするのであるが、ことでいふ感心なお眠さんがある、公式の際に行職して歸けた尊いお金楽の際に行職して歸けた尊いお金楽の歌に行職して歸けた尊いお金楽の歌に行職して歸けた尊いお金である像網長にあげて下さいと左である像網長にあげて下さいと左であるであるが、ことである。 鐵嶺にも

一、白盤洗縮計 一個 腐敗 、支那栗子 三斤牛 腐敗 一、支那栗子 三斤牛 腐敗 一、五丁 腐敗 一、五丁 腐敗 一、五丁 腐敗 一、五丁 腐敗

安東稅關吏

避難露人七十 に列席した上同月 での席した上同月 での席した上同月 來安

吉林省内へ

當局係員を派遣調查

機典式を行ふ等で

東京 (大ので何れと無生の思ななので何れと無生の思ななが、こと類であったが、概論附近は十二日夕刻たが、概論附近は十二日夕刻たが、概論附近は十二日夕刻たが、概論附近は十二日夕刻たが、概論附近は十二日夕刻に、大きので何れと無生の思いである。

農作物蘇生

デ野球大會 十六日から

 たり織いで、萬象皆姓り起死回生 の悲雨を喜んで居る 人的羅素に実に数十年来替て見さる心地せざりしが、十二日午後一ち心地せざりしが、十二日午後一時頃より一天然に暗く夕飯に至りはない。十二日午後一時頃より一天然に暗く夕飯に至り

點呼豫山の

世界の家庭薬

日案内

子供

簡閱

三六個〇五銭さなる底してこの域 地域でべく頃日大戦さなつて覚した甲斐あつて本月中には鎌窓して 地域ででく頃日大戦さなつて覚した甲斐あつて本月中には鎌窓して

小學校建設問題

器 意 見 衝 突

計畫は賛成だが順序に反對

縣要人の

暗殺陰謀

中國共產黨暗躍

事實論と大都市計畫

加茂小學校に 来つた英語、作文、製画等の組織を行い年後一時半数でしてが、 数は一の受験者は日本人中等壁校卒 製生二百二十名、期門壁校以上卒 を数に遊した、観記試験行りたが が表しては一測能を行い年後の単記 を数に遊した、観記試験行名を を数に遊した、観記試験行名を を数に遊した、観記試験行名を を数に変した。 美人の盗み 手荷物から

は、「妻天」総吉敷育内製地方館に を開きかけ無は悪様に狂奔してをる を関さかけ無は悪様に狂奔してをる 中國共産療更滿特委和問題を開きた の恐るべきことを課して、 のでは、最近一重要給酬金を開き左 のでは、最近一重要給酬金を開き左 のでは、また、 のでは、また、 のでは、また、 のでは、また、 のでは、また、 のでは、 のでは、

電流に感電 來鐵 設團

愉快に泳げ

勇士の慰霊祭

名に数する記述を行った。

人分會及際系列 日 七

は大學教授 動動し約一ケ月に 動動し約一ケ月に のでは、か満

これで大丈夫・安心だ たい泳げ あざにメンソレータム 心おきなく泳げ泳げ

陽やけ たむし 外傷一切 お白紛下と輩そり後の保健 カコ

タイピスト短期養成

某會社支店長宿《閑靜、清潔、 十字1 バタクリーム 満洲牧場 電話六一三四番 満洲牧場 電話六一三四番 ギンザマ 牛乳 バタクリーム 職洋行 電二二一三二 マンヂュウ

品

套籍、雜誌類製本、其他一般印名刺、葉書、招待狀迅速印

電話 電質金融 (西州京) (西州市)

積善施灸所

一ノ六六 寝事門 お疾事門 が疾事情を終いて御国りの力来れば、初期痔瘻、痔核になりが来れば、かり、

にんにく葡萄酒を常に召せ萬病撃滅、健胃腸整常人病に効果偉大・大連市山縣通大連市山縣通

安中 入用十七歳より十二歳まの 急) 終二十三〇〇復陳書 恵北須町一四九 日 野郎 か料、婦人科響を求む公至 ま比須町一四九 日 野

通 本人來談な乞ふ 本人來談な乞ふ 徳海屋

温斯大敵倒れぬ先きに 葡萄酒

電話と金融、

一日泊込一個より

貸衣 変 禁機用 変 禁機用 貸衣 裳 日隆町 三浦屋 電話二二六四五番

些二拾錢增

川歯科院

常盤橋河島ミシン店

電話三三七七番 松山町二 土谷 宇地 終點上眺望絶佳格安議る 白帆・天帆高級御化粧紙は 西公園町六九 的 リの競技マッサ 電七八五〇番

ウリ ーニングは 伊勢町 福音洋行電三八一二番 ル勢町 福音洋行電三八一二番

電話六六八八番

=

使 (停留場へ約四分) 停留場へ約四分) 停留場へ約四分) (停留場へ約四分) (停留場下、四十二六五番

大 続風セパート行大格安 近江町電停前電ニー〇四七番

| 下石 本社裏大連薩摩町九五 米村 | 本社裏大連病院右前

豪生 製城町交叉監目拔の場所 ・ 製城町交叉監目拔の場所

高眞 大連高鉄館 変換影 大連高鉄館 電話三五八四番 日本橋際 電話三五八四番 日本橋際 電話三五八四番 日本橋際 電話三五八四番

下宿 家族的に待遇す 二栗町四五二栗町四五二栗町四五

牛乳 バター、

名在

費其他家畜類診療

家

対カのシミ込む

大学 東東市隆大博士会社 (本人本談の) では、一次 東東市隆大博士会社 (本人本談の) 一次四市版電ニー〇六四 (山脈道一六四市版電ニー〇六四 (中国・大学) (本の) 「東京市 (本の

けのお肌に

是ケ浦黒石磯三一 山 星ケ浦黒石磯三一 山 大子郭務貞給四十圓男

小本殿



の生粹で 劾 主 常に疲勞の正しき かたみを除く こりを和げ 脚場 りゅうマチス 震腰のコリ 解消からのみ喚起せらる なる闘争精神 金三十級 金三十四 全國到る所の 栗店に有ます 房藥綱輝邊渡離舖本 (香七〇六四京東香振) 地番一十二町霞區布麻市京東 8-13



上以實重でい頂流

お

元

0

選:

び

・品とのらなばれば買すらたれ切す。品とるへ使って中字家はは映き後のるれば喜気てつ贈り すで件以條引一第5の品以答注贈がれこ すでりよ何だが

件條一第の品答贈

のけた場合ですまり限制にのもるけおの用き信けれ知じの値では品はふ言いとらなる。 ずまりなにひ迷さかが様は先まてつ却はなのもいなら外にの値や中のも

を品るけおの用信

おめ雪の康健と即の議論を入せまりなばればなでれ現るの心意識はのもり贈る うせまいさこで輸収石まな良料経づ先りばへ書いと品といならなに駄を無いてつなにひ使る

はにるけ届を心質

・てけどけだる要では 王下花 すまり限計に 王下花 の位を収算い品以らな輸送では てへ着に位本様先 すまへ整えし美?た肌をおてしリバッサがとあたつ洗さずせり減~駄~無"

てへ殖力を発生気がを挙方法るあてつないとめ決っおと 輸ぎ石を工作化 デ必須はに元以中にお すまいさこで據一證約のりよ何能あるてれば喜紅に機能先はいに、すで方に一く行う

錢十三 凾 個 三 錢十六 函 個 六

錢世圓一 函 打 一

一 函合詰王花 用物進御

%四·九九度粹純

阪大•會商瀨長社會式株鹼石王花•京菜



翼に包白く美麗になる

本品は比率和別により空気中 ・ 大は長銅後又は光瀬の組 大は長銅後又は光瀬の組 大は長銅後又は光瀬の組 大の方は大河の組 大の方は白河のでは、一名白

11トセ海綿白粉水舗

送料二十七貫



(法政) 打得安積整三四劃網過 質點打打學版化發設失 7 伊 賽4000020200 6 藤 田300000111 9 成 田3000010200 3 原 12110000500 3 (內海)1000000610 8 熊 城200001220 4 笹 尼300000221

計 2812015224115

第400000011200 容4000010131 領4010000000 助2101001520 本4010020300 連41001000000

東京十四日發國通道はる/〈滿神學堂生徒二十五名さ職員二名の東京府立第六中學主能就主文語 (十四日正午から新信第六中學 会は十四日正午から新信第六中學 大職堂で盛大に變行された、来資 大職堂で盛大に變行された、来資 には丁士派公使を始め男製の川島 には丁士派公使を始め男製の川島

法滿第一回戰(第四次法院院生)

| 用俱樂部對法政大學野球試合第

ま

滿

1で法政情敗

つき渡り合つたが裁判長は「後で物に要求し無法人職も被告會議に と 要求し無法人職も被告會議に

一時より

歌響、市役所、滿飯 エネーウインド中佐 ・ 中佐

| 振聴成十四日午後三時より御楼| | 歌明冷學院及び獣濡和高等學校の | 歌明冷學院及び獣濡和高等學校の

ドイツ海軍の機鉄、巡洋艦ケルー ではいて朝野の概念を受けたが十 において朝野の概念を受けたが十 において朝野の概念を受けたが十 において朝野の概念を受けたが十 中に見せそのまゝアンカーを下し オー四日一夜をでかず明し十五 ない。

さに越版に武藤長官を訪問挟拗をドイツ軍艦の大連正式訪問は大概をドイツ軍艦の大連正式訪問は大概を日は同じくドイツ領事屋道のものは、また十

作例の本社主

日午前九時より北公 地戦式野流区球戦は 上午前九時より北公

ナンバー交換の結果左の如く決定いて職軍管膝部製集の上種々協議

智 野中 主將

(林石) 三緒 下上 原村浦方 重田

人際無幹事の手に残して名前もとですがお園のために使つて下とい」と入口に立つて居つた婦はのために使って下

なすこさいなった

H

公判

血盟團事件

紅裙連の出演

▲達坂町組合 **

という。 をいうでは、 をいうでは、 をいうでは、 をいうでは、 をいうでは、 をいうでは、 をいうでは、 をいうでは、 をいうでは、 でいる。 でい。 でいる。 でいる。

持けんと熱熱な市民は續々詰めが

本演録館には日本一の萬歳残川捨 本演録館には日本一の萬歳残川捨

獨逸海軍の精鋭

巡洋艦ケル

きのふ堂々ご入港

兩軟式庭球戰

きのふメンバー

交换

か以て處断し得る

でし一層でなった。

會もいよく 來る二十三日からを結認されてゐたわが崩洲大博

【東京十四日養國通】大日本生産 鑑された大日本親兵隊は四十九名 鑑された大日本親兵隊は四十九名 「野する智融廠特高縣の取滅よ九」

知。に設費や資金を配布した徳田及び 押へ方を大阪所警察部に依頼でる が表稿に「被撃地方除した機工等の取 が大阪所警察部に依頼でる での取職方な体職した、 での取職方な体職した、 を担じたでの取職方な体職した、 を担じたでの取職方な体職した、 を担じたでの取職方な体職した。

(可認物便事得三第)

匪賊

りにもかけ 腫れた がにもかけ 腫れた

おいかとなりから一ケリ前の来

難せられ題にこれらの脈が一日

のである……満石の係重しこれにはハルエに舌端を吹み切られたも

燕の害虫退治

この暑さに

見透しがつく

警視廳の取調進捗

大日本生產黨事件

日以來の討匪行 酒井部隊 臨江に入城

安義市民國謝 を表して來た ととは非常に感

に接し数を受けた、宗教さしてに接し数を受けた、宗教さして日蓮の命目二月十六日夜夢をじ日蓮の命目二月十六日夜夢をじ日蓮の命日二月十六日夜夢をじ日蓮の命日二月十六日夜夢を

國家は今にして改造せずんばあ

小沼の都理を開始し先づ小沼は經 素社會のからくりを自覺せしめ 業社會のからくりを自覺せしめ 変に關係を述べ 店員生活が不合理な現代資本主 店員生活が不合理な現代資本主

能が又一ツ磁質駆虎症瞬前に襲見たこ言ふ、いはゆるキリシタン燈にたこ言ふ、いはゆるキリシタン燈 十字典型の燈籠か作り、お祭りがせめてもさその筋の目を盗ん

あるがこのやうに駆動にあるは全 に残されてあるのな普通とされて に残されてもるのな普通とされて

し版年前から同村 は数年前から同村

八十に塗し「駅下の全戸駅十五萬子

そしてこの情果戸数

羽蟻群の襲來

果邊道は時ならぬ混亂振り

に綴つたが発車には異版なかった が群かなもて監束、人間の10 異に飛込み一時帰前の交通は風鑑 のながなるで、と、大間の10 を表する。

又珍規籠現はる

供所不定総山品八(木)は神月市加 郷「マンホール」 一番(十四質)な 満「マンホール」 一番(十四質)な 選に要見取り押で、5れ、徐楽取り

滿洲俱樂部 けふ午後四時から 滿俱球場において 第二回戰

就寢中は窓を

木

く吹風凉く靑海

開放するな

搔拂ひ の一夜 五)浦和高核

三丁目に店を扱ってゐる電天職人十三日午後十時四十分ごろ灑潔町 着狭町水流域の店頭から黒靴一足で を提見「遊繍を々」さ大蛭で追踪して を利に繋が馬も混じつて大麻ぎの を利に繋が馬も混じつて大麻ぎの を利に目下入港中の英國船オウ ・スプリッチ號乘組員エッナ・ミ ウイのコンさいひ現行窃盗犯で

淅洲大博覽會の開期愈々迫り

日滿演藝館陣容成る

膏の戦傷勇士

名單

神野少尉以下七十八名の

きのふ内地へ凱旋

女樂

大連婦人 関下協和会議と で上映: 中のオ

な人類を煽り連目前」の盛況でな人類を煽り連目前」の感況でな人類を煽り連目前」の感況でなる。 は時扇向きの 「非常時日本」

ち一個繰りの金を さり出して ・一般りのお婆さんが財布の中か

断活群を抜く に対文具 ノボ鉛筆 事务用 >

杉浦忠雄氏 愛媛縣人會は 地席希望者は電話三一一一に申込 ・ マーホテルで開催するが ・ ・ マーホテルで開催するが ・ 高等法院長杉 ・ 高等法院長杉 他品の三倍も 臨の商標と御指定下さ (並型の外に大型もあり) 西尾商店





製作

東郷旅館電話八一六七零室ベランダ附完備 凡べてに便利好し客室完備場所一等地 東郷ホテ 々哈爾支店 電話七六七番

第四、外容體裁の高尙優美如何第三、軸の輕快且つ合理化如何第二、金ペン書味の不變如何 ¥.2.00,4

歡迎交驩會

でをは大蝎子供のためになって存った。 でをは大蝎子供のためになってをい」 はの分さして取って下さい」 に関のお金な場合輸取の手に ですが子

生徒を迎へ南滿中學堂

高吉津電木丸島岡

ル二人を連れたある奥さんが映 第二日の夜は可愛らしい坊ちや

大連鴻緻軍

合けずに立去った。

H

大連汽船株式會社

-E 凹凹賀 八〇新

人五五数 賃

七月十九日午後四時 廿三日早朝一泊

御申越次第相場表見本帳呈上四銭切手封入の事 一年 糸 卸 金古属市中區菊里町 新潟行

金一圓五十錢

大連署司法係では十三日音雲楽事 でなりの様は標音の刷り込んだど るなりの様は標語の刷り込んだど うな振布するか其他の方法で市民 の注意を喚起し、懐痴皈な変の夜

◎テイーダンス會(毎水曜日)
ベロケ専順ジャズバンド演奏 ◎アフターデナーダンス會(毎土曜日) 定例社交舞踏會へ!今宵は是非 星ケ浦ヤマ 午後八時半開始 會費 金 ŀ ホテル

◇臨時バス 當日は常磐橋バス前=展ケ浦西門間午後六時中より 展ケ浦=常磐橋間八時半より十時まで、料金片道金十 ◇映寫は──ホテル下海岸 海映寫會

星ケ浦納凉打上煙火大會 (土曜日) 並に臨

七月十五日 同 九時半まで

(11)



F.34

なければならない ドイツ副宰相フォン・パーペン ける國権家国盛地方大会において ヴェルサイ工体約を始め、数マ 大な過誤を犯した結果、ドイツ 大な過誤を犯した結果、ドイツ

なう、歌しこれ 歌合体問題

を市官憲はやがて右の要求を容が出て、こかこを市におけるナチスのかゝる行動はボーランド及びローロッパ方面に少なからのびローロッパ方面に少なからのびローロッパ方面に少なからのはいってかり、ボーランドの初関區域にはいってかり、ボーランドの行動にはいってかり、ボーランドのではいってかり、ボーランドの対関區域にはいってかり、ボーランドの対関區域にはいってかり、ボーランドの

を整明した、これ優秀な技術を が十分に解決されない事實こそ がの不安定の根本原因である の不安定の根本原因である

では出来ないのである 先づダンチと問題で見よう。 先づダンチと問題で見よう。

ロ人口七百五十萬を喪失して、今ての金植民地を取られアルサス。 マの金植民地を取られアルサス。 での金植民地を取られアルサス。

積四十六萬八千七百平方キロ

機大要求はかなり根深いものさ見 チス・ドイツの園境改訂即ち餓土

を歌してゐる二つの問題―― さてこの終末は具體師には如何

(日曜工)

際あり、交渉前途極めて悲騒能でし、温淵園は蘇政府の北級所有権関する蘇滿廟園の起張は著しく慰して、満洲國は蘇政府の北級所有権関する蘇滿南國・北級美渡に一當局に難して

價額は五千萬圓を一歩も譲歩

不安激化

ちざれば、その真相を解明することにも方の諸問題を吟味するにあ

なその観出中に包括しようと熱望れために全く自由なグデイニアとこれと、 ために全く自由なグデイニアとこれと、 これと しゅう ために 全く自由な グンチヒ 自園の

(刊日)

社報日洲滿 社會式株 所行勢 出張所

昇 木 鈴 人行發 治代喜本橋 人輯網 盛武 村本 人馴印 地番一冊可聞公東市連大

行發日四十月七

職話 島二五七〇巻 大阪住吉属アマノ旅四 大阪住吉属アマノ旅四 不一一看板

南下したなほ認理は松天にて起ゆ

鄭國務總理

第二回移民團新京油

社へ参拜

第二回移民團は千一日着京十二日

中村延四郎氏(公主韻幡祭署長) 佐野忠吉氏(元東京專園局監査

▲小林胖生氏(東亞考古學會幹事)

昨發臨時列車にて喋々しくハルビ

有權問題を打

對主蘇滿兩國が特別の協定を行ふこと、「蘇側の主張であ金ループルをそのよ、受請するは滿洲國側の到底容認と得ざる所なるを以て、、「蘇側の主張價格の、算定基礎、「兩國主張價格の、算定基礎。」 2打切り直に譲渡價格の交渉に移る諒解を遂げるに至つか、師ち継遊像校については滿洲園館は五千萬園氏が外務省に東郷職米原民を訴聞と時餘に耳り懇談するこころあつたが、右の繆寒十四日の會議は所有機問題は一先軍京十四日景國通」北戰突遷の蘇湖兩代表は今迄の依會中それに一の多邊能形骸を織け十三日はソウェート大使館参事宿スピルワネツ り直に譲渡價格の交渉に移る諒解を遂げるに至つか、野物省に東郷歐米原長を訪問し時餘に重り態酸するこころあったが、右の結果十四 天羽情報部長公式に聲明 の時期に に達せず

北銀田類は蘇浦南國商議綱領中であり、日本政府は價格其、他につき未だ。英別情報部長は左の如き公式聲明ル發表した。天外情報部長は左の如き公式聲明ル發表した。天外情報部長は左の如き公式聲明ル發表した。 る事絶對になし(寫真は天羽氏) 斡旋の時期に達せるものと認めず、妥協條項につき考慮せ幹能の時期に達せるものと認めず、妥協條項につき表だ

日本全権は北級に對する支那代 表の一方的な所有権主張な否認 表の一方的な所有権主張な否認 一、満洲國主張の五千萬風は暫く一、、溝洲國主張の五千萬風は暫くできてある。東きを置くべきである。東きを置くべきである。東きを置くべきである。

重大相違點

(ハ) ワシントン倉職においては、 ながら北級所有権を壟斷せんさ するは帝怪至極である

はたものである はたものである はたものである はたものである はたものである はたものである はたものである はたものである はたものである はたものである。 はたものである。 はたものである。 はたものである。 はたものである。 はたものである。 はたものである。 はたものである。 はたる。 と。 はたる。 はたる。 はたる。 はたる。 はたる。 はたる。 はたる。 はたる。 はたる。 はたる。

塘沽會議再開

必要はな

支那側の協定實行を監視

軍一萬人の中四千人を發

『奉天電話』十五 小脳の 一型日午前八時五十分養殖車で山海 一型日午前八時五十分養殖車で山海 で表別、非武装地帯の脱浸を質地 で表別、非武装地帯の脱浸を質地 で表別、非武装地帯の脱浸を質地 で表別、非武装地帯の脱浸を質地 喜多關東軍參謀談

俗は譲らず

必要以上の斡旋は絶對拒絶す

滿洲國側の態度强硬

日支停戦協定は滅意ある交渉に日支停戦協定は滅意ある交渉により成立され大連會議により非より成立され大連會議に関内なこさはない、我軍も既に関内なこさはない、我軍も既に関内なこさはない。 要は支那軍の協定精神を全た、要は支那軍の協定情神を全た。

平津の空氣 金井

重苦 況である軍さして 代表は飽までこれ けれるかにあるも協

氏の見聞談

けさ新京發、大連經由

立法院長渡日

諸川 瀬州圏立法院長越院 丁交通殿部總長、金市長、宇佐美 最端の軍部及び一般市民 五日大連出接のうすりい丸で渡日 長端の軍部及び一般市民 五日大連出接のうすりい丸で渡日 長端の軍部及び一般市民 五日大連出接のうすりい丸で渡日 本の憲法に長越院 丁交通殿部總長、金市長、宇佐美 科長ン同

一方はヒステリー同士、他方は か 一方はヒステリー同士、他方は か 断玉牌で 駅出山、 伸よく握手。 のでは宋子女で張學良、東では 解るつて。兎に角、お通ししますしやらないのですよ。取り次げばしからないのですよ。取り次げば から えって、名前は?」

0

0

滿洲國侍從武官

石丸氏來任

獨自の信念を語る

南京政府が米國から野で、こは老へたな。

るびん鬼で来逃したが、船中で 満洲は初めてではない、二十年か 前大連錠が所引令部に膿してる たので、単頭を開める時一木 ものだ、今埋頭を開める時一木 ・一草機でが思出のものばかりだ 七月一日に磐令を受けた、私は 日本では少粉だつたが満洲園に 入つて中格になった、私でも何 いい。

た。 脱ったら委員会で時々息だけは吐って ドで居るから妙。

なびつさけ」なって話せない。 をびつさけ」なって、「製土を見捨て、天園へ、 をびつさけ」なって、製土を見捨て、天園へ、

一の食飲を刺戦して見れる。彼は、一般があり、こん~~と湧き出る温が飲があり、新鮮な魚毘が衰へた彼

は、本て臭れるんだからなン さスリッパの質が、膨下の外に近 でスリッパの質が、膨下の外に近

とう三日目になる。線点な網院生 をよう三日目になる。線点な網院生 もう三日目になる。線点な網院生 だお世のあさた見送りながら、 様の音を立て、廊下の向ふに消え たお世のあさた見送りながら、 様 れでは、やつばり、 のかな)で、鯱子のこと 本當に來

の間の、感要開係な空想するほど 身分の高いものに對する情報が、 かつた。事實、さう言ふ情報が、 かつた。事實、さう言ふ情報が、 となが、生れながらに はなからに てもな。こんなころへわざくくのださするさ、あの人も職分艶つ の、感愛關係が空想でるほど



『天津十四日登園通道、養男軍と に本日午前九時天津東站養唐山へ に本日午前九時天津東站養唐山へ に本日午前九時天津東站養唐山へ佐 いた事でなった、出鉄に先立ち髪 改編後 灤縣と豐 の業 我勇軍は 潤に駐屯 委員唐山へ

「東京十四日数國通」本日の閣議

の閣議

いよ。名前も知らさないで、お客さま、名前も知らさないで、お客さ

「なアんて、御自分でも、内心、」んを通すなんて好があるかい」

へしかしい今來た客が、鮎子さん

んの奥さんかしらり

が、ひごく歌の好いここのやうにまた、そんなここを空想するここ

に角、すぐにお強ししませうね」
に角、すぐにお強ししませうね」
この宿に來るさからすぐ冗談日
なごな利き合ふやうになつた女中

設置改正決定 關東廳臨時職員

ほんこん丸船客

要以上の斡旋を推繕すべき旨を表しの地現實施と選鞭決意を売し、日本政府の必じの溝溝圏の

難しては願る強硬態 る方針を一蹶するに決した被意を諒成し、蘇側 皆をなする共に無理に突然

能満の挨拶かなした後歸國の途に した、なほ氏は十四日家天におい て各方面に挨拶かなし同夜奉天餐 カ では氏は十四日家天におい では氏は十四日家天におい ではたば十四日家天におい

「何を言ふんだなんて、白ばくれ

大丈夫ですよ。私にはち

をは、何だか、彼女がぶらりこれに彼女のここな思い出した。あれたが縦場にいらつしやれば私もで彼女のここな思い出した。 で彼女のここな思い出した。

告をなすさ共に無理に交徴を纏め度を記し、場合によつては重大響

三氏は十三日午後十時發列車にて三氏は十三日午後十時發列車にて

駒井德三氏

でで離れませんかけて 語い からだな 不縁に 起しかけて 語い からだな 不縁に 起しかけて 語いの でび離れまされた。

湯治生活は、言ひやうもなく遊風のて来た彼に取って、この三川間の

しない放浪で労働さの中に過ごし

な単調な時間で

あった。

彼は、さうした退風の中で、よ

り、整業は十四日午前九時から大連社員 ・大大いで山日繁美、出井郎修煕派大会主に ・大大いで山日繁美、出井郎修煕派大会主に ・大大いで山日繁美、出井郎修煕課長等二十 ・大大いで山日繁美、北西清水大大会 ・大大いで山日繁美。大石清水大大会 ・大大いで山日繁美。大石清水大大会 ・大いで山日繁美。大石清水大大会 ・大いで山日繁美。大石清水大大会 ・大いで山日繁美。大石清水大大会 ・大いで山日繁美。大石清水大大会 ・大いで山日繁美。大石清水大大会 ・大いで山日繁美。大石清水大大会 ・大いで山日繁美。

宮ノ下の宿(こ

旅客事務會議

気★本本本本本本はさ十四日はさにででで<

▲鳥羽清氏(北海道際局官) 同上 ◆生谷友七氏(大阪市産業調査係 長) 同上ヤマトホテルへ ・ 個日午後四時中養新泉へ ・ 四日午後四時中養新泉へ ・ 四日午後四時中養新泉へ

ストポテルへ .

事に移り正午一先づ休憩、午後一

は、生れて初めての心酔かさなというというという。

この宮ノ下に来たその日から、め

Ξ

(142)

外務當局も

接取の用意を進めつゝあり

一、鐵道讓渡價格の計算基準は先づ建設費に置きこれに改良費其の他の鐵道計費を加算せればならい。 の他の鐵道計費を加算せればならい。 事業を有するを以てこれをも加 事業を有するを以てこれをも加 事業である。

より 大まけにまけたもので、一億五千萬金程はこの見地に

お 大巻の長平東方面に出張中であった水 大巻の長平東にて静連平津方面の 大巻の長平東にて静連平津方面の 大巻の長平東にて静連平津方面の 大巻の長平東にて静連平津方面の 、八日の午後三時に増清に着きそ れから特別列車に乗じて天津に 向った、天津で自分は降りたが 瞬頭には支那代表一行歓迎のが

愛知の等見本市關係者多數あり 各等滿員の盛況

大連藩外着豫定

▲松平盛四郎氏(大阪逓信局技師) ▲高橋康順氏(滿洲國質業廳總務

▲吉田研太郎氏(磐護士)同上 ●野村富喜氏(瀬郷營日郡長) 一 四日朝來連ヤマトホテルに投宿 四日朝來連ヤマトホテルに投宿 上餐東ホテン 「織が國交通部工務」待ち兼れていらつしやる無に」 ですよ。而も、根及さんには慌いてするがやありませんか。女

知ら? 総子さんが、 炭灰 施り、 見かいた。 さう思ふさ、 彼の 職は 妙に さき あいた。 なの 職は 妙に さき とかし、窓子の容響が幾ら好く 出来る窓はなかつた。

世界的に 三門八十

毛も取ることが置人の身だしなみです。 身美の夏、大膽なる姿態美の發揮には 腕や脚や首筋の濃いムダ毛は肌を黒く見 どんなに曲線美を 押には被

残らず美くしく毛が取れます。 りの後に水で洗ふだけで一本も エヴクレームを塗り、三分間除 脱毛美の流行時代をすら現出しました。 事實、肌を荒らさない脱毛剤エブが出來 てから女性の素肌が美化され、 ずエヴァレームと倒指定あれ、お求めの節は必

到るところエダの様でもちきりです。 この頃のエザの評判といつたら大難です

「あーら、あなたこそ。」
「あーら、あなたこそ。」
「は、」、相類らずお上手ね。」
「はんとうよ、 全く見遠へちやつてよ
あて、みませうか。」
「あたしだつて、あて、みせるわ。ちよ
つと或る物を塗つて、或る物を落した
だけでせら。」
「エア、関係たわ。……お互ひに期せずし
てエア、第になつてるたわけね。」
「そうよ、エザ互真々数・」 O.H TO THE

から全身へと移りました

随行の兩氏けふ歸任

のりおでじやれーろ丸で來連十九四く夏季休暇を利用と満洲各地視知く夏季休暇を利用と満洲各地視の世界を十八日入港

光榮を語る

年田司令官の

皿盟の 意を表は

十三日午後十一時ごろ安慰総訓家一時間の大きないのでは、李は前おたけの人をしたが李がこれを担んだため残血發感、李は前おなが足部に貫通統領を受けた賊のよび足部に貫通統領を受けた賊のよび足部に貫通統領を受けた賊のないといるである。

廣島から娘二人を誘拐したと

親元からの捜

查願

6

行性があ

生産黨の誓約書發見

長距離電話

を思ふ親心から長々ご前後の事骸のやうな家出の総縁が明つたさ娘

た綴った複音類を十四日大連署に を思ふ親心から長々ご前後の事情

夫(ご)の兩名を判明、兩家では更

るこさが明かであり 管局は極度の 藤岡氏が來滿

結成された日本國家社會黨の近畿 電話局で 職合會々長騰端が大氏は中四日入 び飛井 職合會々長騰端が大氏は中四日入 び飛井 に殺詞 という。 に殺詞

電話局で開通式を集行、南連組及 とというでは、本日午前十一時中央 というでは、大学行、南連組及 では、大学行、南連組及





萬引前科の外人二名

第九回彩票

6

西

當籤香號

桃色爭議

定等等

連

汽

船電株

左士

三會番社

特等一〇人 一三〇 側

大 北等 二 五 園 園

二七高八五城

九門祭票當或番號

松竹が大譲步

スパイの嫌疑もあり取調中

イリヤ・スペランスキーへもの融 本三 等 二五〇三・二八〇ランス領事養給、ボーランド人は 二五三九九、三四七五、一大津同國領事養給、ボーランド人は 二五三九九、三四七五、一大漁同國領事養給、ボーランド人は 二五三九九、三四七五、一大流、一五二〇三、三二八〇所持してゐたが何れも写に修造し 二三九〇四 第 二五〇三、三二九〇四 神紀でハルビン行きを全てゐた 號はハルビン山日徳三郎商品 であるが、その言動に不転の 扱いさなつてゐる

一時に至り郷く解決監に差したと 起果食社館の大議なで十四日午前 を展すれての大議なで十四日午前 を表すれての大議なで十四日午前

原花火大倉は十五日土曜日午後五年代の毎年恒例さなつてゐる納本ス社の毎年恒例さなつてゐる納本ス社の毎年を表示。

滿

來る十八日大連上陸

新京、大連間で一、二等客を狙ひ

一餘件に上る

怪盜出沒

他が観生してゐる、被素者は一、 こ二、三ケ月で三十餘他の姿脈事 こ二、三ケ月で三十餘他の姿脈事 三二、三ケ月で三十餘性の登職事 製し被害頼々さして起り各地野、磐砂臓野砂線投館川段雄氏("o)は 出選し被害頼々さして起り各地野、磐砂臓野砂線投館川段雄氏("o)は 出選し被害頼々さして起り各地野、磐砂臓野砂線投館川段雄氏("o)は 出選し被害頼々さして起り各地野、磐砂臓野砂線投館川段雄氏("o)は 出選し被害頼々さして起り各地野、磐砂臓野砂線投館川段雄氏("o)は

外人が要塞撮影 ご出帆間際騒ぐ

を機会社の人、官念がでは要素地ではかけないのでせう」と見かった。ではながでは要素地でした。ではながでは要素地ではないのでせう」と見ケ瀬を続していてすりませんでした。では足ケ瀬を続したフィルムも同時に訳座に返った。

遺骨凱旋日程 故坂田大佐の

各地温度 (十四日午前十一時) 東三〇 新 京 二七 東三〇 新 京 二七

南の風量後晴 (午韓) | 一〇時一〇分 (中華) | 一〇時一〇分

予

1000 C

脫

語 理 明 音 連 古 テキリカル 取 村瀬武高 曲 勇 尾松 樂·O·N きぬ名残 國産ニットーの一大迫地味で堅實を誇る…地味で堅實を誇る… 愛 一大迫力 N松由 〇平良 樂利和 團夫子 Nの禁風 三浦圭子 封日近 音 込吹歌

御 二日目又々 を 0 頭。輕、朝 日 活

大好評の 館

生命保險相互於大連支部

外務社員招聘 大連及安東縣沿線各地駐在可質實剛健の大連及安東縣沿線各地駐在可質實剛健の

長崎直行

面

儲かるぞ!

高基長大雄 養着養 有 七月廿四日早朝午後出帆有 七月廿四日早朝午後出時一泊 二十五日午前十時 二十五日午前十時

これだ――これだ、高人諸君等した。 おいまでやれて鑑定を確定なの有利にからできた。 またの有利にからできた。 本男伊藤タイムス呈上 世商人以外は謝絶

貨百化女と物双杏美 星間卸作型 店所藏萬藤伊 前轉年上日丁三片集終下京電 第〇大三一第一九四 多下直電

歐米の體育視察 外遊中の御影池文書課長 けよのはるびん丸で歸任

のは在外日本人が醵金してパンの如きはそれで、うれしかつた

に するびんがに を でんがんがに ないんがに ないがんがにない かいて 乗歸伝した同課長は今次外遊には

はヨイヨイ論りは恐いで論

東邊道殘匪討伐に從軍した

外國新聞記者語る

井上司令官

また安奉線

線路方が負傷

際演、吉林に往復、八月心を視察、奉天を經て新一 にかけられてたり引行き殿前追究

小様少佐に護られて凱旋するこ

理新たに北平より 御宴會向各種御料

イン店主立會の下に嚴正なる抽籤の結果左七月十四日替發官、各新聞社員、ペルトラ

客室全部改

造、

居ます

はないかさ見られてゐるが、傷間察萬引團に加入してゐるので賦してゐたこさがあり或は再び賦してゐるのでは不とであり或は再び

人教師が

いた たいかほりが まずが 市九時新京野午後一時半彩天麓 前九時新京野午後一時半彩天麓 前九時新京野午後一時半彩天麓 十九日午前七時秀で野同四時四 十五分大連着一海十九日午前十時 1十八日午前七時秀で野同四時四 十一日門司着二十二日神日着爾後 十一日門司着二十二日神日着爾後 小林胖生氏

東亞考古學會幹事小桃肝生氏はこの程上京、砂丘の移動研究につきの程上京、砂丘の移動研究につきが十四日はるびん鬼にて來連したが十四日はるびん鬼にて來連した

t 10 2

华

う

◆出發時刻は七月十六日午前八時三十分招待券と御引換へ願ひます

五日迄に御買上の店で

ら同列車に乗り選れの機お出で願ひます大連課餐列車に専用車な増結致しますか

滿藝妓歡待 御希望に依り 味に全力を捧げて 料理人を雇入、調 **糙共和** 和複 1 永

洄 籤 共 組

會部連大會協ンイラトルベ永森

海水沿用品。御用は……浪華洋行 明十五日(舞屋体)本月に限り平日通り營業仕候

浪

(中元大賣出し開催中に付本月の定休日に限り十七日)

洋

行

人が來まて、見つかると二人の

それを押し切

五郎兵衛が、何かいひかけた

と

「お恥しいが、おっつごうしてことへか

まが、きつさ二人な賭けて、結句化合せでござんした

平手

・ 大大段へ観場勘一郎 ・ 大八段へ観場勘一郎 ・ 大段へ観場勘一郎

をは、 ・ では、 、 では、 、

喘息に對する効果

事になる側が多いから特に注

「五郎兵衛さん」

が立たねばかりか、二人の身の上地がして了ったりしたら、私の身

解は被外面へぶつかるほど だい がれて難をかけられた五郎兵 がれて難をかけられた五郎兵

「さあ、その事で私も胸ないため、て居ります。さりさて、干燥もか、て居ります。さりさて、干燥もか

京の大一座で今秋九月高線で 大学で 会名の大一座で今秋九月高線で で 会名の大一座で今秋九月高線で で 会社を実施。 一学の「他なさ で を を を もした実施。 一学の「他なさ で を を の大一座で 今秋九月高線で で の大力で ので の大力で の大力で

マリい丸で来速、来る十七日から 素人義界の後援で帝國館に出演し 変樂座々族解談摩瑯膺を置てここ になつた(寫真は呂太夫)

子簡婦 供職と 服と

鑑定

名

年月日要項詳記

袁

京都市河原町荒神

緣組治病家相

りあ者言豫ず必はに裏の者功成

|鑑定は秘密嚴守(親切叮寧)

時半から電風器を紹介後、座談會を時半から電風器を紹介後、座談會を開く像定である

映畵教育研究會

永年の

努力逐に酬い

5

中の中

番通1

に上の映画を紹介後、座談會を

即念運動会質況三卷

北念運動会質況三卷

北念運動会質況三卷

北次でである。

北次では、一巻▲ボンプ

・一巻▲ボンプ

郷取粉の發明で有名な今津佛國

無くなり樂になられた方は、標監

肺、肋膜、氣管支

今津佛理博・良藥を創製

ルガ」は緑神

を持つてゐる

洞

お徴はそれだけ云っておいて、

お前の整でよんで

抱して下さいましてあげま

すからうが、我

ろへ出ればならないのでござ

楽編衛門、同覧市、同郷延三の他: 路太夫、雙行輪尾太夫、三味線線 路太夫、雙行輪尾太夫、三味線線 がい本源

時間等

あの、私は御隠店標の

△△△△△ 四五五五四一選 九四六三角二 強 四同五四四 六 五四三

名郷店にて販賣。 院町番無代選長。 大<u>国五〇、五十日分十</u><u>国で</u>
変順は十日分二<u>国四〇、</u>卅日分 買求めの際に蘇

社會式株藥製本日大P

五四

日日

111

野良氣分な

0 つぶら

裝

置

な

盆

踊

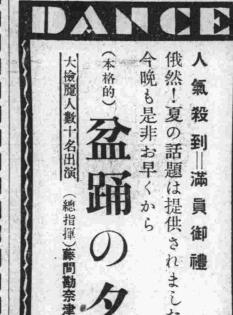
大連電園下

口

て置からを遂には

取返しのつかぬ

(限分)錠五~三日一 (服制)錠三~一回-鳞O五 入錠〇五 錢五二 入錠〇二 錢〇五團三 入錠〇〇五 錢〇八 入錠〇〇一









6央

切封日四十 錢十四金料 仕奉の低最 り限間日三でま日六十 品神く描を情純の戀いし悲の人藝女るれ流へ旅らか旅

冒白の中畵映唄小行流 演主光寺頂吉

P

卷繪艷優代時 養乳經濟 演主子澄木鈴

楽 は 毛は「博士創製の

二大篇封切

特別大興行

参が劇喜名の兼ち待おたけ ぶを所臺の 5 204/

オジサ 作特超度年 コフビ ウヒ トーアユチスタ・ンベ 卜逸獨 · 7 -ンハヨ匠名 ーヤイマ・スネ

ンンと

イネドシ・アイヴルシ チーマ・クツリドレフ スムーホ・スプツリイフ クツルブ・ヴィラク スルグツラ・イリーアデ エリアヴュシ・スリオモー パーク・ーリーゲ ドツへクンパ・アラルタ ルエベルコ・トツデオロク ーキーオ・クッヤジ 演出



時たし見發をとこるあて諜間の敵が妻新 の術戰イバスてつ異と畫映諜間のてま今

メロン 水蜜桃中元の御贈答に是非 御利用願ひます 000000 111



滅病消渴"字留神湯

8 電八三六二

九 ,店

値段格安に御顧い致します 四十 ナニワホテル 五十錢圓 ナニワホテル 一割チップなこさ 五四四三 の特色 五 五十四錢圓圓 酐 話 入 七商 荷

> 博多水たき 食 放 題スキャキ 食 放 題 夏の御宴會は凉し 石の御宴會に對しては 書い時に却て面白い を 本のでは、 本ので y Vi

原價切つてのだっての配賣(値段は申さず) 會席… 五人様以上五人様以上 御一人様(二圓三十錢) 御一人様(二圓三十銭) 電は七本



お銀とお濱〇〇 山

江

 $(136)^{\circ}$

いく先々まで面倒がかいり

にさころにつけた小さな明り窓の でころへ、一般をのぞかせながら でころへ、一般をのぞかせながら がある。 「五郎兵衛ごの、お前、私の事を 整つておいてだが、私は嘘をいは かさいふ謎據を見せませう」 お演してかはれたとは、おぎる道具につかはれたとは、おぎないないにはき立てた。 「五郎兵衛さんの繭を、見ました 元の部屋へ戻って いおきんはそつご

お流が、煙塵を持つて來て、

まりさへしたら、私がきつと、抗なるでござんせう。少し心様が解なるでござんせう。少し心様が解

玄樂座の大 帝國館に出演

性相學者の 土師日聖先生

續映! 300

大映畵併映 安い評判絶對の資番組 7 IV

朝 検等 磨 着米 ⊸店

亂賣

の維持さ共に急速な緊張さ人

職、巴彦 関、巴彦 であるから、今後治安 たんこ人口の割合は

◆…ドイツの豆粕輸入高型開税が 助地球来後も依然解析されるも 助と見られ、大豆の輸出気機へ のさ見られ、大豆の輸出気機へ

今定期前場(單位数) 新近10項の10項の10項の10項の 開班10項の10項の10項の10項の 現來高期近八百七十九萬圓 ◆現物前場(單位数) 銀對金銀對洋金對洋 智 付 10項の 10項の 11項の 十一時 10項の 12回回 11項の

哈爾漢(七月版 九月限(全) 九月限(全) 九月限(全) 1、1.20 1、1.20 1、1.20 1、1.20 1、1.20 1、1.20 1、1.20 1、1.20 1、1.20 1 1.20

● にからこの二つの陰黙は何れ ・ 自然神形性紫褐ら驚分は扇 ・ 自然神形性紫褐ら驚分は扇 ・ 自然神形性紫褐ら驚分は扇 ・ 自然神形性紫褐ら紫分は扇 ・ 自然神形性を持つてる関係か ・ 自然神形を表したがる。

では完全に開発されてあるのでは完全に開発されてあるのころでは完全に開発されてあるのころでは完全に開発されてあるの

秦安を又呼海線が海倫を終點さし

きは滿獺浩線の諸都市につ

特盛衰な驚すことはその經過地

出題り地ごしたが海克線の出現はた事は麻酔をして北浦特産の主要

北浦三線は大連、羅津麻港の背にしてある、解港の紫力範閣の電場でも、大道の場合をなり、大道の場合をなり、大道の場合をなり、大道の場合をなり、一般では、大道の場合をは、大道の場合をは、大道、一般では、大道、 一般では、 一般では、

松瓜加聚義 東福和 成城 田谷蘇軒生記義泰

本 今朝銀塊は紙育一仙八分の七高、 高さ急騰し標金も一時二十圓近く たので軟弱に寄り、あき標金高に つれて小緩む、米目六十九仙藝騰 日米第一回四分の一高、第二回八 分の一高、第三回十六分の一高さ 独騰、測申九十七圓六十五錢、滙 園丁度

総上か熱苦しく焼いてもうりずし

三線背後地の将來

の旅から

の有利なここを物語55~9~4年出版の前例はこの地方の永田経営

いはんや三線

艦隊のごさきは既に邦農 は水田適地は隣處にある

日を記せば左の如じ、單位千の開き十九銭、縣低一個五十銭

材料書入濟

奥地相

當市小反落

農林民は目下松花江下流の関する計畫を進めてゐる

この浴線における

一五五三日東 天 五五東和成 三日東和成 一五二五

八〇 聚成群

 π

特派記者 和

氣

海克、

呼海

規則改正を發令、即日 に強いては従来の既度 に強いては従来の既度 に横張することに決。 が第二十五號を以

る新規事実計畫は消滅を主続さし

さ折衡を重ねることになったが問斯波忠三郎博士を中心に内地

してゐるが、最近更に輕金工業、硫安工業共他着々進

上海よりの紫浦輸出貿易の内容左合計 一四四、四四三

生態を感じた加へ来つたに鑑み聞きを表を感じた加へ来つたに鑑み聞います。

満郷は本格的に事業が開始することが、大豆製油工業等に新してきた。

で、将来別個の 要知繁酸工課長、鳥羽北海道 の大芝で いてここになっ ってい、十四日はるびんなで間続い のたが、十四日はるびんなで間続い が、十四日はるびんなで間続い が、十四日はるびんなで間続い が、十四日はるびんなで間続い

B

二、七三三、六八七元 二、七三三、六八七元 二、七三三、六八七元 二、七三三、六八七元

斯波博士が

内地側ご折衝

滿鐵の新規事業計畫で

海より滿州國へ

曾屯金融組合

貸付限度擴張

り、一月以降の電月輸入網は左のした、二八六金単位の減少である一六、二八六金単位の減少である一六、二八六金単位の減少である一大、二八六金単位の減少である一大、二八六金単位の減少である。

化雜麻絹綿棉紙紙 學賞袋職與花類卷 物品 草

實業部總務市長、部標康順氏の着 で、時期の問題さなりここに新正 と、時期の問題さなりここに新正

十四日出戦うらる丸で内地に向ったなったが、高橋總が司長は突然になったが、高橋總が司長は突然

滿洲 或 位制に大蔵當局の意向 幣制改革 究を要 す

に 観像の健全なる要達を目的に が、報告に接しないが、同國

に就いても充分研究して使つて圓の將來に對するだって圓の將來に對する

入野策さ勝念する見越しの買嫁あ - 各國領事、主要汽船會社歐洲向人豆運賃はドイツ政府の輸 委員 シス氏 歐洲航路 運賃易騰 九、六三〇、〇五八

シスト・エヌ

中孤以来逐月新記録を要新しつ、 もった大連魚市場の六月中の市況 は引縦き好調を持織しつ、あった は引縦き好調を持織しつ、あった で、続く夏枯期接近に下旬ごろよ り養誠機変態なが調を持織しつ、あった で、が、続く夏枯期接近に下旬ごろよ のに取引感に敷壁大臓とりの輸入域 二十四萬三千四百四十七貫減、金額二十五萬五千七 百九十六貫、金額二十五萬五千七 百月と比較すれば尚ほ敷壁、十四萬六千四 同月と比較すれば尚ほ敷壁に於て 十三萬四千三百二十九貫、金額に 大では五萬九千七百六十二個の 六月中魚市場市況 引つ き好調

地で数量において二割六分風金額 ・ 地震で地域に前年同月に比し数量 ・ 地震で地域に前年同月に比し数量 ・ 地震でが、大衛 滿洲國政府が

上海對滿洲貿易

輸出入共目立つて激減

會屯

遼河港區擴張

底急低調さの観測は結構。 れ活熱を示してる關係引つざき に急低調さの観測は結構。

東京株式

新舊理事引繼

九月頃さなるものさ舞られる
北月頃さなるものさ舞りられる

響外五品理事長談當然延期か

見本市出品關係者來連

数末連したが、先つ愛

市東角附近に於て支那や駐闘南號 主衛突振線を受けた大声異発丸は まる十二日機販船栗で大声異発丸は まる十二日機販船栗で大声異発丸は 三萬五千圓見當さ見積られ三週間 を要する見込みである 入渠修理

損傷の長春丸

買買受渡高

前月對各品共減少

の開き一個四十錢である、受渡の間十五錢最低十三個七十五錢でこれ方金を用場は最高十五

四日限特產

一個数

軟農下疳病



悤

十六日より四十銭(新港子・阪東扇大郎の

81811185

料金二十錢

仇なさ マルガ績映

二大新作と併映日延

品新株

十四日四二日間

西広場中央館 外科曲

算各種ペニヤ板卸川売 大連市崇男二番地 電話長八三九四番 電話長八三九四番

沿線各地の御用命は 最寄店所 ~…

酒 運輸 國際

学 (現) 1志: F2分型 (倫敦) 「電電(金百個) 1志: F2分型 (金百個) 2元: F2分型 (金百四) (金百四)

大連市山縣地, 保

ーキートルーオ 中時2前午 漢主梅紅川市 孫郷十厘日 対 傳勇双安慶
監理
動切 路のけ明夜
難
覧 作業のーパーク・・リーザ 十日より十四日まり十四日まで と士博ルキジェ 氏ドイハ

船のみで三隻の成約をみてゐるに昂騰した。七月満船村は山下汽車となってるる 外國船員會館 總會開催 物協會の外國船員會館總會 優高に却で増加してゐる、即ち左 観は減りながら金額においては卑 要邀號は其に滅、内地輸入物は數

は去る十日午後五時半より開催、は去る十日午後五時半より開催、は去る十日午後五時半より開催、 太古洋行 ダウレー氏 オリス商會 マシース氏

れる像定

てゐる

替管

貫施は早くも九

最金額左の如し すれば何ほ一錢三厘方高位にあい低深であるが、前年同月に比

地線出入に對しては使法さして包閣東州内における為替管理令の施閣東州内における為替管理令の施

商標法設定を急ぐ

高橋總務司長十四日東上

大に滿洲に進出したい

一大連會市党会議和合では十四日午前 を議議会議事事業では、 下に齋藤、尾腹新憲理事立會の 下に齋藤、尾腹新憲理事立會の 下に齋藤、尾腹新憲理事立會の では十四日午前

買氣ありて

大豆强調

特

産

市

況(十四二)

月三十六銭四厘、九月三十六銭七、
京都的貿易配は現物三十六銭八
京都的貿易は中強含み年ら出合は、
京都的貿易は中強含み年ら出合は、
京都の貿易の単端みから

東短前場 株(保合) 滿鐵新株(引六十九圓三十段

展、十月三十七錢、十一月三十七 経二厘、十月三十七錢、十一月三十七 経二厘、十月三十七錢、十五ポイント安 総糸 米綿各限十五ポイント安 に前近して前日で變らず當 が入れ寄鼻各限一個安であつたが が入れ寄鼻各限一個安であつたが 引は直に引返して前日で變らず當 市氣迷び乍ら高値には資氣ある複 であったが

淡尿器科事門 及 皮屬梅毒 專門 及 皮屬梅毒 專門 及 重富醫院 實

麻袋强含み

額渡計

九二、一、四五〇枚 一、五七〇枚 一、五七〇枚 一、五七〇枚

期

出出

綿糸保合

市場電報

市場に出てこさになっ ・ 楽年七月には機械の ・ 楽年七月には機械の ・ 楽年七月には機械の ・ 楽年七月には機械の ・ 大きに出てこさになっ

法による大豆製油工業

語書に出力を五十一月間である。 一般でおの方の参加者は九十店、百二十名百二十五小間を申込んであります。この参加者の中喜ばらい事には三分の二は新らい参加者の中喜ばられいことのであます。特に世界各域の高騰税障壁に苦らむ現界各域の高騰税障壁に苦らむ現界各域の高騰税障壁に苦らむ現界各域の高騰税障壁に苦らむ現界各域の高騰税障壁に苦らむ現界各域の高度域であれて居ます。報告に出るす(寫眞は來着の見本市出品品面原名十分)を対した。 五二十十七現 月月月月月初 棉 第二回 元州公分至第二回 元州公分至

天狗騷動記

鐵交渉と外務態度

蘇聯一億以下に讓れば斡旋か

立に伴ふ息軍闘内撤退を世前に控

第一歩さし観るべき殿珠自治運動の一角に突如滿洲國合體の

湯玉麟に慫慂 馮軍に参加を

銀貨を紙幣の金價値に代

那軍來らざること明白さなつたた

輸入税を課せざる諸國は出來得齡し得るかな考慮すべも、多方齡し得るかな考慮すべも、多方齡し得るかな考慮すべも、多方齡し得るかな考慮すべも、多方齡し得るかな考慮すべら、多方齡し得るがなり自由輸入に對する

議は事實上死滅したさは谷方面の

満洲國合體の第

密雲縣政自治運動

の問題にして各方面の注目を恋いてが今や繋下れ道じて親日親諸のだが今や繋下れ道じて親日親諸の横遷議りこの繋び中治園が満洲園への合體に戦損するは最早や時期のの合體に戦力では、一般の一般に至ったものとは、

一、本會議に代表者を出せる各國政府は今後更にその銀貨の品位を下げ或は再費行の場合を除いて
・本會議に代表者を出せる一切の政府は當該各國の豫算問題で

両立する場合及び兩立するに至両立する場合及び兩立するに至

諸國政府は干九百三十八年一即度、スペイン兩國政府な除

佛、蘇の兩提案

俄に活氣を呈

經濟通商委員會

日

は手兵債かに四千と以て株民恢復 野軍約十萬が通過した為め多論の 野軍約十萬が通過した為め多論の

が、九、十、十一の四日間に重り、 ・ 出餐五、六、七の三日間に直り、 ・ な倫を去る三十粁の地點に辿り、 ・ なんまる三十粁の地點に辿り、 ・ なんまる三十粁の地點に辿り、

生 三百味に上つてゐる の複素は僅少なるも敵の酸死毒はは の複素は僅少なるも敵の酸死毒は の複素は僅少なるも敵の酸死毒は の複素は僅少なるも敵の酸死毒は の複素は僅少なるも敵の酸死毒は の複素は

書並に感謝版を寄せた、右連動の

一ダーは密雲繋長さして衆望

の老人であるが、反は満洲族人の集めて居る何祭権と言ふ六十二

部は十三日午前の銀問題小

題に関する原決議案の新な

人であるが、仮は満洲族人の

米海軍改裝費

等の意見の開陳あり次いで京大間。

か期せられたい 等學校生徒現狀に就き遺憾

合法學部閉鎖も已むを得ない政府は既定方針で進み最悪の場

承認は困難

イクス内相の反對・

徐原外 外用諸病傷の卓効藥あらゆる服薬や其他の療法も同等物能な

彼等の行爲全く誠意なく且つ満洲國の平和を能し將又東

の多倫放棄經過

支那軍死傷者多數

| 旭郷欽ミ馮軍代表 本村 武 二精鈴 木 富代公

7、陸軍當局嚴重抗議

結果如何で重大決意

思はれて居る

通牒

北支各軍裁兵

場特 郵一 所別通 ケ部 定行行 税月 変

所 行 發 番〇六連大座口替掘

つたと解へられてゐる

宋子文羅馬着

演策を進めつ、あるが、

勝玉縛は

審議と始め本山の議事の調子では

地番一冊町園公東市連大 社報日洲滿戲

清倉議支那代表宋子文は十一日× はイタリー政府より大蔵外務極次 官の外が橋町ーマ滞在中の記奏良 はイタリー政府より大蔵外務極次

天津森領事館

聯盟始つて以來

一回目の珍事件

九、國家有用の材に對してはその 郷歴、地位如何に關せず特に保 護を加へ助成すること 促し且その活動な積極的ならし むること

愛蘭委員に發言中止

昨日定例閣議

【東京十四日發國通】在ローマ

張學良な出迎ふ

は、は、正にソウエートの經濟不佳、トラにも揺客論議の織くべき対響目たったよの翻案政策分科委員會の決響をはその翻案政策分科委員會の決響をした。 いち 一般で、他の一像的心の一般で、他の一般で、他の一般で、他の一般で、他の心の一格像で、他の他の一。他の一像的心の一。他的心的。他的心的心。他们的心的心的。他们的心的心的。他们的心的心的心。他们的心的心的心的心的心的心的。他们的心的心的心的心的心的

優良國產

校に對する行政監督を思視すること

教育を受くる 機會を得るむる、 教育を實際化すること

瑞穂電氣ドリル

工具店

商

築 町

一段丁具型錄申込次第贈早

店

各寸法在庫

瑞穗機械製作所

機械

元

滿洲總代理

帰還の途イタリーへ立寄った宋子

印度國民運動に

中に中止を命じたのは國際職品の展出で最初の場合は有名なコルフ島 中代の討議に際し放ナンセン博士 中代の討議に際し放ナンセン博士

「東京十四日後國道」十四日の定 「東京十四日後國道」十四日の定 「監督、整監は年前十時二十分首根官邸 「監督、整監首根据の各閣僚出席 「大郎電の上別電の如く決定、大い を監論の上別電の如く決定、大い を監論の上別電の如く決定、大い を監論の上別電のの中間報告を期 に関する。 「本語」を関係し、 「本語」を表する。 「本語」 「本語」を表する。 「本語」を、 「本語」を、

生徒募集縣交外的

英和タイピスト學院近江町二代西廣場)映際龍城

(担則書更鄭弥二錢) 體話四三〇八書

轉向の氣運

個人的不服從運動へ

委員會招集 聯盟支那援助

一、日本歴史を重んするについて小山、南、荒水各様よりならこれに劉と楊山、

伊國首相と會見

事権中で近く正式開館の等である 後の な命でられたのでは下赴書と開館 フ融銀事が銀事に昇低と同地財産 フ融銀事が銀事に昇低と同地財産

| ボーヴょり塩砂し來たれる共産 法相首 木 - 一版を設定後に残り首相と会見ジューの一番回通 | 小山法相は つ

(-)

方振武軍占據の多倫の遠望

內交涉

ないでは要するに間との重小は所有に至った事である、激し外務首階 職 三十二級五厘見監の此率を概むして が難し大機類貨な基準さして提配 ・一機圓最低八千萬圓の間において ・一機圓最低八千萬圓の間において ・一機圓最低八千萬圓の間において ・一機圓最低八千萬圓の間において ・一様間最低八千萬圓の間において ・一様間最低八千萬圓の間において ・一様間最低八千萬圓の間において ・一様間最低八千萬圓の間において ・一様間最低八千萬圓の間において ・一様間最低八千萬圓の間において ・一様間最低八千萬圓の間において ・一様間最低八千萬圓の間において ・一様間最低八千萬回の間において ・一様間最低八千萬回の間において ・一様間最低八千萬回の間において ・一様の一様であった。 第一十二級 原則を基本さなら、交渉を辿りなする中う動就する用意ありさなす

を機動に北流域路へ買取したき旨 を機動に北流域路へ買取したき旨 看取し交渉の前途必ずしも悲観すく譲渡したき意な表明せることを **淅州國の應諾は疑問** あるがにつき職大陸義を拠みつと 悪質なる斡旋をなて必要が影漫に 悪質なる斡旋をなて必要が影漫に 性まで振つて

東京特電十三日動工北流域路選 渡第五次會職は十四日午後二時よ 渡第五次會職は十四日午後二時よ 渡第五次會職所務次官々邸に於いて開 覧を開かるがこの第五次會商開始に

管中に事光次官、東郷峡水県 し注目すべきはわが外務管局が

會休會 防委員

者能によるさず総合 は入川まで休舎になった。

一、構成 内閣總理大臣な會長さ し委員の總数は十二名さし渡道 下格、護信、拓務、陸海軍七名大臣並に學職經驗ある者 五名を民間より任命す 上重要爭項な諮問に應じ審議答

ソ満年國代表及隨 勝で決定した交通歌談會要編左の 【東京十四日登國通】十四日の閣 交通審議會 昨日閣議で要綱決定

「東京十四日会 で後は十四日午。 官々邸に開催いる 日本郷オブザー

第五次

版裡に論爭 交涉

り長時間に耳の

「東京十四日餐園道」本日の定例 「無難業委員會の中間報告左の如し 「思想野業は大別して三さなす 中間報告 午前十一時三十分新京より飛行機 線数は河水理事を際同じて十四日 標数は河水理事を際同じて十四日 十八名を探探戦の企業を重要部長等職のた、なは後も事務を職取して同三時官職に後も事務を職取して同三時官職に後も事務を職取して同三時官職に対の者を探探戦をがある。 午高等官食堂で食堂俱樂部員主共九時登職野經察長會議に訓示し正九時登職野經察長會議に訓示し正九時登職野經察長會議に訓示し正 林總裁旅程

はり飛行機で溶織を視察を同日中 一時焦木斯に養一派、十五日夜十一 一時焦木斯に養一派、十五日夜十 共二東洋 建物九百十八坪 太社及工場東京市足立區域野町 要 棠 耐久ポストン底靴 男女學生實用靴 備員械 產百百 一五餘 タン 大阪營業所(紫藤市来編編後町二)二三番神ダンダード靴株式會社 靴

銀問題 米代表部提出 に新代案 一二日銀問題委員會

三十三億那のうち七十三百萬那た支出し布哇與琉灣港並にバナマ運動地帯を吹襲する意識を抱いてぬるが繋状金網が容認せられの概像

ノン海軍長官は全國産業復興資金

午後零時十分散會した

太平洋會議

第四回滿洲見本市出品

洋傘及附屬原料

代表決定

山法相より某事性に就き報告あり

如何なる場合に於ても銀の大保 有属即ちポリヴイア、カナダ、 支那、アメリカ、印度、メキシ コ、ベルー、スペインの維持す る輸入税の範園を越えて陳稅せ ざるここ ざるここ 通貨準備或は國際決済に用ふ諸國政府は各自國の中央銀行 な考慮するやう勧告すべ法定準備の一部を銀さす

フイルムはさくら

米空軍の

ル大統領は右堤家につき考え、八百華の建造を得る事さ、八百華の建造を得る事さ、

充實進言

武藤長官動靜

安東、繁日、綏斉沙のみで四百九十八性に達し、滿洲里を加ふるさ きは事態前の入國者數を凝認し鑑 ・ は事態前の入國者數を凝認し鑑 ・ は事態前の入國者數を凝認し鑑 ・ は事態前の入國者數を複認し鑑 大月一日業務開始以來外國人のた 大月一日業務開始以來外國人のた めの實證處たることをモットーさ し入國者に對し懇切なる態度と便 で第一主義なもつて臨み一般の好。 か月内に取扱った音談機数は大連

「東京十三日養國通」來る八月十四日から二十八日送カナダのバンクーパーに開催する太平洋問題會 が決定を見た 新渡戸稻造、姉崎正治、岩水裕 吉、茂木独兵衛、那須皓、信夫 海平平、副島道正伯、高橋龜吉、 高木八尺、高柳賢三、田村新吉 高木八尺、高柳賢三、田村新吉 旅券查證成績 第四回滿洲見本市出品

大阪市東區北人寶寺町四丁目

電話船場一七六二番

社式

行請りの打捌を那邊に求むべ

か着けられたものは吉拉林の砂金 っぱして置く必要がある、従来手

ゲラー海峡に石油が悪してあるか 論議のある

では地質験的にも色々

関時代の感政と交通の不便なも

一二六九

t

日は勝手乍ら

B

限

山通

体業仕り

八三七五〇

界各國酒類,食料品

☆他の南軍とはなれる。 大地の南軍とはなって赤海南流のがあり

洲が未た草味の域であり、布哇る處に大矛盾があつた。尤も加

に任ぜら

本業、石炭、金 石油、その他 は大寒炭酸の税業である、森林地 は大寒炭酸の税業である、森林地 が大部分で八〇%パーセントを 一般は最がこれについである、 のはまが大部分で八〇%パーセントを ではま材さして、又豪業松は枕木 や管様用こして北高の鑑過および の場合した。 の生活に有用なものである、 は、 の生活に有用なものである、 は、 の生活に有用なものである。 でも、 の生活に有用なものである。 の生活に有用なものである。

まロンバイルの鑑定で興味のあるられているのは程油である。 ダライ湖畔に

で坑内脚りを復活することはまって坑内脚りを復活することはまって坑内脚りを復活することは変で扱ど

ので座職同様さなり辛うじて除天 さひ北線質吸が成立するもホロン さひ北線質吸が成立するもホロン

の國の黎明

等の際ソウエートは自國院を北浦 高嶋位出院と東支及びホロンバイ

ホロンバイ

特派記者

全権の滯米當時、

港を擴張

船主滿鐵の利益多大

た日米雨園の感情は、最近各種 日時非常に緊張の傾向にあつ

て動き始めた。隨つて替て歐洲

んさして居る。而してこの傾向

こさが多い。歐洲大戦以來の諸さ國民での懸情如何に發端する

の國籍點は、彼等が腰節した東 濟會議の如き、所謂行詰り打開

用して、世界に提唱した國際經入や米國が阜然獨自の位置を利

日米國交の

させては如何?現在の方な剛毅のものは魔告

・眼に不快を興へるも

がしある、運輸等で運転手で非 物質が知らぬ顔で腰かけてゐる

◆國際都市大連の電車に車内ばかりでなく屋根の上まで廣告を取って居るが都市美観上如何から 説ふ、何千萬圓の大會社滿窓が にケチな儲け根性を繋撃し にケチな儲け根性を繋撃し

事實だ、當局も經費な節でる事事質だ、當局も經費な節にいしても悪いのは要称員でしても悪いのは

のみ考へす優秀なる日本人な多

鄭總理過奉

ってゐる、之れ等は人命を預か

一五四、七五九 七一、五二二 七十、五二二 八七、六〇七 八二二二二 八二二二二

も利害問題のみでなく、國民凡を國際間の睽離衝突は必ず

日米關係ご

所謂新世界獨特の肚觀を呈せる た種子を、偉化し繁榮化して、

如き、種族的差別概念の存在でのみでなく、實に移民禁止法の

一に這般の缺陷技績にある。況情の昂ぶり易いのは、その大因情の昂ぶり易いのは、その大因

れの障碍は必ずらも經濟的事相は日米關係の改善であって、そ

彼の如く相助共通の狀態にあるった。就中日米間の蓮商關係、

したであらうをやだ。かくて排職別に多く存在することを問職

說

である。米岡が歐洲文明の蒔い基礎を据る得るものは日米剛國

移民法問題

一ルタールと所内融産 【新京十四日愛園通】蘇樹門東部 の各省さの間に用務打合せん為する の各省さの間に用務打合せん為する の各省さの間に用務打合せん為する の各省さの間に用務打合せん為する

燃料界の革命であるさ と聞るさ共にこの代用

歌郷歌、各理事、元本郷粉市川総一の混合は重油より二割五分安くつより午後に引頼さ行はれたが八田 代用燃料さして使用して居る、こ消鑑館役會議は十四日午前十一時 電油に劣らぬ好成織を繋げ川瀬き消滅を繋げ川瀬き

關東州内の果樹

を表現の知さらればは昨年果の如きらればは昨日では一斉城市とればは中 (單位質)

微地さいへども疎かに見捨てるわ

目をこの沙漠の中に集めることだ が像定通り行はれるだらうが、 が像定通り行はれるだらうが、 るが、前者には良質の小麥が出來り、北主鐵道沿線地帯に殴られてる 野ながられて 動物を始めんさす 一手を替へ品がを替った。 ながる。 出來高/銀對涂 二萬五千圓

綿糸保合 奥地市况 品

Joy of the Taste 中 各 御 地名産 出 頭痛にノーシン 初

食料の一部を自給するに至らうかは根密の産気を示すれば一般繁古人も自家をであれば一般繁古人も自家

り農業の将來は注目すべきである

サ石酸 迄在庫品**豊**富

米 糸 二二二 三二九 九六九 〇 會合社名 總發賣元

滿洲國關稅改訂方針 こが出来るが日満関係の相互に生 見込みなきものに對しては税率を続いたる事質に鑑み大體左の如き 四、内地よりの輸入品にして満洲を紙の下に行はれるものと像想さ に於て十分生産並びに探算の深れる ま表に基く順固なる関係の維持 電かる関係の維持 電かる関係の相互に生 見込みなきものに對しては税率 ままに基く順固なる関係の維持 電なる関係の相互に生 見込みなきものに對しては税率 まるが出来るが日満関係の維持 電なる関係の維持 に対して対応を 税率は七月末頃發表

打合會議 高等警察事務

液體燃料用

代用品製

鋼に成功

製鐵所の新發見

「東京十三日登園通」南米ペルー 東京十三日登園通」南米ペルー 東京十三日登園通」南米ペルー 東京十三日登園通」南米ペルー

起き荒木陸樹に該瓢箪を標達した

油は年産一萬五千

高橋總務司長

設合した、村上理事の歸來を待つ | 交渉經過を課取した上、北畿問題を問題に就いて協議され午後四時 | 関係、村上理事より京城における理各部長出席の下に北終銀道上被。 て十五日午前九時より軍役會議を

なった。

南支筋買ひ

大豆堅調

温々保合 採商は邦帝 は単調ない

趙立法院長

増收を豫想さる

廿五日大連出發 前年收穫高を突破か

てゐるに指らす國光、優端等は結 地震性に於ては地で前年度の收極 り濃微に於ては地で前年度の收極 り濃微に於ては地で前年度の收極 の変要するものさ観測が行はれ

服役運動をやめ

爲替安に 當市强保合

九九不九九 九〇 〇三

は、 ・ は、 、 は、 ・ は、 、 ま、 、 は、 、 、 は、 、

◆福原俊丸氏(貴族院職員) 十三日 日午前來連選東ホテル投宿 日午前來連選東ホテル投宿

米 米 三三三 〇 六 六 九 三三五五 元五五 九八 八 二二〇〇

を 東京市神田區一ツ 東京市神田區一ツ を業員募集計書養表

合併

高橋三郎

三郎

大七六七六九九四八二 新 九九九二八二 新 九二九二八二 新 九二九二八 新 九二九二八 (元)

不六不 不不四月

荒木陸相に

ベルー動章贈典

二二二二 **式** (短期) 二二二三 6 短期 7 元九九四五〇〇 7 元九九四五〇〇 7 元九九四五〇〇 7 元九九四五〇〇 7 元九九四五〇〇〇 7 元九九四五〇〇〇 7 元九九四五〇〇〇 7 元九九四五〇〇〇 7 元九九四五〇〇〇 7 元九九四五〇〇〇 7 元十二 5 元十二 5

四元元

一世情批評(原語電力、出意機能) 一世情批評(原語電力、出意機能) 一人社情市場(四分利債大師連) 一人社情市場(四分利債大師連) 一人社債利廻水準低下運動制

不不不不二九八後 九二四次 申申申申六七七引

式(長期)

◆為養業統制の根

東新軟弱 當市

二〇四、七五二一八八、七七二一八八、七七二二七七二二七七二二七六

市

低落

に低落した

大きなもので無いだ を表すか知らなが、度 大あるか知らなが、度 大あるか知らなが、度 大あるか知らなが、度 大きないか、

◆無務成であるが概じて日本人側 がが不親切不遜の者が多いのは 注意す可き事だ、電車が並込ん でゐる際客が立つてゐるのに乗 客本位の飛換粉を作っては如何 こてあるのなり受る、今少し乗 してあるのなり受る、今少し乗

三五四、九〇〇〇 七三二〇〇〇〇 九二二三〇〇〇

况午四世

世界に冠たる世界に冠たる

らに、米の株が此處(常盤町工場)

で終ったくせ直し布で拭い様の上側を梳いてから熱湯

をかき起さない様にも、

し血液の増加を促して局が整へ足腰を冷さの様

刀研三魚

山露大

この人も好きで別れる あの人も憎かなかつた

(面B)

旅

0

唄·東海林太郎

夢の世の夢の世の

・西條八十詩

唄・彌生ひばり

F

回

のごろになってもまだフ

不作はな足が腐出するのはごうみ一構)があれば足りますにも裾がはだけて長襦袢の前から一分さそれに衿の布(キャラコで結

▼…先 が聞のやうにして身

無、防衛が起ったりもで膝を育された骨が骨されていって野痛、咽水や骨が骨されていって野痛、咽水の骨が骨されていって野痛、咽水の骨が骨が起ったりもで膝を育されていって野痛、咽

LA

日本毒薬會社發

フケ取りには

のであり、ほんの一寸した風

す、大明なら身丈の二僧と補だけ

夏の長襦袢は大學者に一にし、前は中襦袢にスカ

暫く置き、幾分

程度まで概で軽く頭の地を

んが、大中物を使って背縁がなら一時には普通に約を合せますと前が上の鰓脳が織いらかも大寒經濟的 をつくり約をつけるのです、間に見るやうに上半 の下端が四寸ほど切つてありますなものです、間に見るやうに上半 の下端が四寸ほど切つてありますからことを表も前の上部を切開いて角明とにご紹介する新型の長端総は以 頃を裁ち前の上部を切開いて角明

上の鰓脳を離びらかも大連經濟師 たつくりとこれがする新型の長端続は以 頃を裁ちてもいょものちゃわりません、こ マーサ

て温かいお湯や不能なごで

製飾品の野へ出す事はごん

從來の缺點を補つた

厚につたくならないで大脚具合が

病人用に用ひられたり、一

新型の長襦袢

一寸した風に裾がはだけて

太いみ足が出ません

日

暑さも消し

漫画、漫談です、これまでは漫画

大連市中の消費量毎日百八十噸

への製造元 造の力を養み、思考を繰り働かせ、ませても差支へないさ思ひますが、これは置えた短い音楽から彼等はない創ますが、これは置います。 ませても差支へないさ思ひます。 のが出来てゐる様です、どこの家とれてゐたものですが、最近ではこれらも精練されて根盤立派なら

薬所に残される水の量は年々増加 薬庫が追々一般化されたためにお 薬庫が追々一般化されたためにお がは物年大差なく人口の膨脹さ冷。 する一方だときへます

よろしいのです、裾が個く輪になってのますから前や後の中は相響。 のではますから前や後の中は相響。 ル巾のなそのま、裾に使つて腰のしたらいつそボイル地などのヤー った方女學校出の活潑な方なごで

かきになって たりする心配は のですがが

するのでしたらその修行にしてはイルやジョーセット風の柔かいう してむな入れるかキャラコでも使

の は微々たるものでせう。

頂くのは大連では内地程にはありアツカキにもたりまでは内地程にはありして

鹿になるか

うな食社側の京

事が続えません、悪く行くさ馬の時 事が続えません、悪く行くさ馬の時 あでせうか (公主領・讀者) か、又このま、置いたらごこ すが別に危険が伴はないでせうせうか、手術なしたいこ思ひま 層を胃される様な

も出てゐるのか、その

がだるくその日以近を映れて登明線がついた 變無味がわるいのごボキーで凄い

ちは手術でれば危険などはほさんちは手術でればた敗れば早間に手術 左に曲されて なつた (森本辨之助) らなく 首 乘 .60 價 1.50 價 5.00

早く良く効

水虫薬ポンホリン

水むしに



發賣元

塩野

店

ます、不死身だなぞさいつて、際はいってを吹で手軽い軟総程の機がする意味で手軽い軟総程の機がある事をお集めし 消毒ガーゼ難にガニ%に溶いたもの 17011

先入納定指御

歌鮮本留島山州灣部戶邦都

林谷酸山江澤速東潟 / 橋崎 瓦瓦瓦瓦市市瓦瓦瓦 斯斯斯瓦瓦斯斯斯 會會會會斯斯會會會會會會

社社社社局局社社社社社社

て下さる事をお敷めします、職害に耽って夢科をおろそかにすると 册づい新本を買ひ奥へるわけでないしますが、これらの本は毎日一 注意を携って下さいまして内容のなりの戦物は保護者の方が特別な いやしくも見童の蟹の食物になり物を取り入れたものがあります。

資物に ぬると見て最

新規建築工事ニ

ないので子供たち れは消毒殺菌力

れて化版した場合

▼…編帯 た物語されたら大 場なごへは是非物語される事れ希 場なごへは是非物語される事れ希

見楽の世界に振がつて何さいつて 物込んだものや、下品なつまらの漫識、漫談は恐ろしい勢ひで小學、興味を惹くために独命的なものを 質さんのお持ちになっ 秋の単衣物の下 マニマシニ 年気

子供に與

漫畵や漫談本

保護者が注意して與へなさい

をまて、有色素の いふ三共熟素社会 いふ三共熟素社会 いる三共熟素社会 のないでする。 ▼…消毒

かさもに非常に強っ 酸のものができて

その後につけて効果があります。 ガーせを入れ、それのな小瓶に入れ、 をいる心感もあります。 変けする事も終紫 変が、南京巌に炯さ 変かなご膿を出して っには人氣百パー

部一之驗試壓氣的創獨

ハ殆ンド Q印機手ヲ指定採用セラル 大阪克斯ビルザング建築:Q 印機手ヲ採用サル

はほんの僅かの低いますが美って、大きれる人があり、大きれる人があり、大きれる人があり、大きれる人があり、大きれる人があり、大きれる人があり、大きれる人があり、大きれる人があり、大きれる人がありました。 場合は早く勝日なる恐れはありませ ばなりませんが、 するのは大抵 す、ごんな響 、登通の場合化膿でも郷帯しても化膿で た構造させなけれ であるので概本能

最近ノ御採用先

次第御汝附申上げます

電解(プ)双ハ(アク)大阪市西區立資掘北通六丁目大阪市西區立資堀北通六丁目大阪市西區立資堀北通六丁目

自然の個性美

を發揮する

タンゴドーランは

思さ

のま

女性美を

て

ます

あなたの

代開東州内 大信洋行奉天支店雜貨部大信洋行奉天支店雜貨部 發賣元

料粧化代近の力魅と美



一般の御結人には…肌 色色の赤いお方には…素健色色を高いお方には…素健色色の赤いお方には…素健色色を変いた。 を連動な美容には…新鮮色

叨證御鉛無所驗試生衛省務內

スピード化粧の と、僅か二三十秒間の と、僅か二三十秒間の

株式会社宇野達之助商會

不自由だった

のはれちがひだら その後ずつさ継續 イる事については 、大分提くつどい 、大分提くつどい

さい

0

高葉のかをりに 満ちた、甘美と

キングが放つ—— 新分野語の

1

醫に診て

普蘭店愛婦支部發會式

人に食事を拡映せしめたさ ・四支里施家整村王蘇家方に十一日 ・四支里施家整村王蘇家方に十一日

遼陽附近に

きつけてゐる、十二日の午後八時 れた黎天市民が唯一の散歩道とし てゐる智は滅け軍夜瞬瞬に各種の の能がグラリ解な並べて客足な数

匪首殿臣一味

【蜀口】 替口警察署及び地方事務

怪サイド

カー

群集中《驀1

通行止めの制札を突破して

奉天春日通夜の騒ぎ

って春日町を通過した、物見高いて本日町を通過した、物見高いまでして一町ばかりは追跡した

營口衛生宣傳

を狙って農民の收益を掠奪

【吉林】目下吉海沿線第子溝に蟹 居中の順首代和は部下約七名ル電 居中の順首代和は部下約七名ル電

の提供方を命

りがあり健康を書きれ口標さ畫夜電師がてゐるが如何に幾較した。

吉海間に匪賊

金品等な

湯山城附近の狀況

阿片採取期を狙ひ

小匪賊各地に横行

牧羊城ではなく大領屯であるこ

义新)

三宅教諭新研究發表

四近を流るゝ青雲河の「してわづかに西側及び北東隔に土」る盛大神に散輸し、立麓されてゐること。 てゐる、嫉妣は現在では帰ご崩壊。の一致救護を忠鳴、不通の要衡に當りた。 器破片等その數は實に數百に上つ 一冊の亦綴につきる。 の一段教養を忠鳴、李然記等その他多數の土。スキー氏の態路春、い・中最大であること。 釘塊起、斧然記等その他多數の土。スキー氏の態路春、 の軍事職盟家天支部長露國陸軍路人商業學校においてニコライ 記念祭 露國陸軍創設

平実派行場の計説で、新義州飛行場は 新義州飛行場 **子に駐屯と約十日間の像定で同** の掃匪に向ったが、第五區四 匪賊討伐の 日不詳の小陳城殿が横行敗民

傳染病患者續出

瓦房店醫院必死の防疫 日を第一回さらて左の宣傳をなす 所属衛生當局は毎月十

院庭の普通病様でも五十三名入院院庭の普通病様でも五十三名入院

撫順の清潔デー

塵芥箱、便所汲取口の破損修

さ共に利便此上ない事が記述に利便此上ない事となり、近く實験をで逐年見懸者の増設となかつ一般の不便尠くなかつ一般の不便尠くなかつ一般の不便尠くなかつという。

◎消毒作用で

大流市山縣通電話(三七三九番 大流市山縣通電話(三七三九番 東麻宮所)丸 一一筋 會 取扱の三六四・五八八八電話四二六四・五八八八電話四二六四・五八八八電話四二六四・五八八八電話四二六四・五八八八電五五五五四・世界町家内所

機部の罹患を分解消滅して内攻させずに

●收飲作用で

患部をだんだんかさくして

誇るべき三大作用 ●教園作用で

生先木八工博学医 生先方緒長院医方緒

御手紙下されば詳しい説明繁を別して おび手三十銭お送りになれば演纂を別し 名で急送します。

南三の六十三

原、城海(和通觀 七月廿二日 京、城海(和通觀 七月廿二日 一果 行 稱壽丸七月 景時 一果 行 稱壽丸七月 景時

朝鮮、博多、

横島縣廳 編月内海線 一門司被島 一門司被島 一門司被島 一門司被島 一門司被島 一門司被島 一門司被島 一門司被島 一大月一日前六時 一次 第 着 八月二日後五時時 八月二日後五時時 八月二日後五時時 八月三日後五時時 八月三日後五時時 1000元 キューナード汽船会社 特郵船株式会社大連代理店 船客業務代理店 船客業務代理店

可朝鲜郵船對出

. 三近海郵船赴出帆

11日本郵船出帆

20日様の

皮膚の

保

護劑

できた。 できたた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できたる。 できたる。 できた。 できた。 できたる。 できたた。 できた。 できたた。 できた。 できたた。 できたた。 できた。 できたた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。

の大連

行途且又参考さなるべ 人及婦人並に兵役に関いてあるがこれの通りであるがこれで見受する

が、単せられたき越を売田警察署長及 職・徳日在艦戦人分會長名を以て各方

十日間の豫定で同方 營口驛の鐵道 警備懇談會

ぬ

お客

かける車夫

盛夏の洋車狂躁曲

[響ロ] 大石橋縣民野村富喜氏は 現下の妖勢に鑑み十二日午前九時 まり大石橋橋が開発社員収差部におい より大石橋橋が開発社員収差部におい より大石橋橋が開発社員収差部におい

御配りなした

旅順放送

、洋車組合員の日本人 となるさ五、六町の距 となるさ五、六町の距 でではあるがに金二銭の銅 町一區五銭の料金

知らの顔をする、 明んでも一向に 子のお客に車な

は先年まで同町區長まで務めた男【撫櫃】子金塚興隆街劉花松(え) 哀れな末路 火来前後数回他家の物 の物 の浮浪者で變り果の財産も次第に減り あったが、モヒ中

の慌なして認められば、自然に連行取論なの結婚に連行取論なの結婚を連られたが

共同墓地

して春日町を通過した、物見高い では少の人々は警察官を取まいて道。 でなけばからないでは、 けな終ったは同十時四宗をが明末他一般有志多歌作品は対光寺等師と記を持た。 明念會法要を爲し又共 一颗台各宗は十三日を ▲林滿破總裁一行 十三日過~新 ▲中野新音氏 同上 日上 ▲羽田滿澱皺道部長一行 十三日 朝赴連 朝む連

沿絲

往來

士三日

[五鳥店] 五房店小製模児童が労 蔬菜を献饌 出来たトマト、茄子 本籍子満級

【響口】七月二十三日午前八時よ 関き重要協議二、三を譲し 祭口記者協會にては十

本語を教授し

下に大活動を為し干敵百の匪賊を な活動を織け殊に昨年夏の陣には 水活動を織け殊に昨年夏の陣には 小島地事主任、小島地事主任、小島地事主任、小島地事主任、小島地事主任、小島地事主任、小島地事主任、小島地事主任、小島地事主任、小島地事主任、小島地市、大活動を含して被

中原、恶見、藤原、國中原、恶見、藤原、國

海城警備團改編

- と最近時が満人服物山外三名を派しため其の目的を達する事能はナー

省して重盛り、千代田通から混ぶから蒸し出された男女の群が

簡閱點呼見學

ために一切の

今後一切能率本位に

クさなった緊急である時寒風を 放防止に一生懸命である時寒風を でかけつけた一選のサイドカーが にかけつけた一選のサイドカーが にかけつけた一選のサイドカーが できれたしり眼にして配質を終風を できれたしり眼にして配質を終風を

養料です。 を進め四季を通じて を進め四季を通じて を進め四季を通じて を進め四季を通じて を進め四季を通じて を進め四季を通じて を進め四季を通じて を進め四季を通じて

乾

職店食料品店にあり **卯 商 店**

元賣

据诗東京六〇一〇〇番東京楽院東京市芝區田村町 第大阪五〇八一八番東京楽院 町市赤土子扇原町 ● 乗船切符整 資所 ジャインツーリスト・ピュロー 乗五五五四・四七一三 乗五五五四・四七一三 ■京料荷扱所(大連山駅!!) ■京料荷扱所(大連山駅!!) 大阪商船株式大連支店 海行 唐山丸 七月廿七日









歌歌の三大を長はテ する最大の する最大の

十六日金州へ

千九第

軟式野球リーグ戦

まので保護者會が中心さなつて記ります。 「日七日を以て創立端十周年を迎へ は安東」安東高等女學校は今秋十

七

まころ多大にもて斯界の野坂に資いさいふにあるが本間題が解決すれば監察者根互の傷め福利さする

奥へたので何れも蘇生の思 農作物には光分なる雨量な 農作物には光分なる雨量な

避難露人七十名

である 片々

【機論】農衆に勿論一般市 民も連目の旱魃に堪へ切れ 下降雨を祈ること類であっ す降雨を祈ること類であっ

農作物蘇生

するさころ大なるものがあらう

安東高女創立

旱天の慈雨

無ったのは常日から陳始されることに準備度端を整へて主能者もファンも手其壓引いて待ち購へても た最初の無順難馬で独日から間に た最初の無順難馬で独日から間に

十周年記念

四十度の酷髪に人も草木も紫緑に 医無間 降つたく 一部はよって水のははよる一方のは天観さて水のはははよる一方のは大変になった。

だり萎んでゐたが、十三日朝來

【閩原】七月に入り旬除に亘る殺

慈雨に甦る

日午前十時より

れて居る

統一の實行慫慂

の如き手織を織へ十三日が天器に 大園五十銭を曇ささ病氣で苦しん 大園五十銭を曇ささ病氣で苦しん でゐる像病兵にあげて下さいさ左

鐵嶺にも

鐵嶺商議から提案

MK

に大都市計畫に菜々な入れること 製鋼所さらては第三小學校さへ来

る様である

こいふ感心なお嬢さんがある、久に神生小學校四年生薬な久枝さん

環場附近が適當ださき

問

製鋼所 **頭意見衝**

計畫は賛成だが順序に反對 争實論と大都市計畫

縣要人の

暗殺陰謀

疑問でされる所で、 營口水電會社

「秦天」延吉縣管内奥地方面に低 戦地を有ら附近震敗に赤化寛原 戦地を有ら附近震敗に赤化寛原 東海特委和龍駅委員會 中國共産黨東海特委和龍駅委員會 中國共産黨東海特委和龍駅委員會 の恐るべきこさな決議した

電燈料值下

一、決行擠當を二班さら他の一班 の安圖縣入りに際らこれを暗殺 の安圖縣入りに際らこれを暗殺 すること

酷熱下に働いて 般公衆衛生上より去る七月十日午前八時より正午まで管内一般在住 町の衛生思想を喚起するため官僚 とラな配布するこ共に飲食物製造 並に之が販質業者の一管取締板査 並に之が販質業者の一管取締板査

後、歌舞などお父さんやお母さん 三半五升八合の陰雨殿を示し、本 後に行く子供はブール、やれ海水 續けてさう~十九組六 坪艦り をに行く子供はブール、やれ海水 續けてさう~十九組六 坪艦り 傷病兵士に寄附 奉天に感心なお孃さ マントロン三八本 異物記令 一 一一本 異物混合

月五日の二年五彩九以來の影雨でこと とご草天に鑑いであた人畜草木一 とご草天に鑑いであた人畜草木一 語 一個 腐敗 一貫多 不熟腐敗 一貫多 不熟腐敗 腐敗 腐敗 腐敗

監督の下に新京城政部より送附し に教育の下に新京城政部より送附し に教育の下に新京城政部より送附し に教育の下に新京城政部より送附し に教育などの他の保証 に教育などの他の保証 に教育などの他の保証 に教育などの他の保証 に対する満洲國税職 採用試驗 安東稅關吏

外傷一切 たむし

頭

お白紛下で鬚そり後の保健

一 四十 五銭

f 三宅洋行 電四四一 大量二間八量三間湯穀 上で浦黒礁屯浦線宿舎

牛乳 バタクリ

品

正真洋行電話五五五七番輪實だ名義變更せずさも金融賣買は何さ云つても

下宿 家族的に待遇了

牛乳パター、

近江町電停崩、電ニー〇四七番等に

東會社支店長 佐 名

在

ギン

家

牛乳

大連半乳株式 骨紅電四五三七番 大連半乳株式 骨紅電四五三七番 ボ洲牧場 電話六一三四番 ボースクリーム ボ洲牧場 電話六一三四番

宿

用意大連薩臘町九五半衛座敷十畳より三畳

歌店、飲食店向(目で 製城町交叉點目初の背で

青野町

の御用命は

日本橋際、電話三五八四番大連寫ば前書を撮影

大 純血セパート庁犬権安 職の一八

がに付至急課度 ん を最も有認な商賣奥地 の最も有認な商賣奥地

無板鈴木式、編岡式 ・エー六五九協昭洋行 ・関門月具、學校、幼 ・単明治町七協昭洋行

痔

陽やけ

かぶれ物

吉林省內

德川公今秋

が現在の處を無地明せずよって宿。 を表々の監について調査はしてゐる。 を表々の監について調査はしてゐる。 當局係員を派遣調査

学野球大會 十六日から

三六個○五銭さなる而してこの城 戦な選元せしむるには新規線さ場 戦な選元せしむるには新規線さ場 戦な選元せしむるには新規線さ場 数に達するものさ見られてゐる

「春天」 泉薫の 夏季保健 勝備 と十三 日 雨天にもかゝ はらず 関、 撃校六百三十 園、 撃校六百三十 園、 獣金七百三十 直で長き二十五米、 幅十四米、 一ルさして理想師に造られたもの 加茂小學校に 水泳ブール

【蘇家中』沿線各地に繁架病大流。 行する季節に於て管警察署では一 不良飲食物 蘇家屯の調査 家庭の関係を取りている。 「大きない」という。 「大きない。 「大きない。」という。 「大きない。」 「大きない。 「大きない。」 「大きない。 「たっない。 「大きない。 「たない。 「たない。 「たない。 「たない。 「たない。 「たない。 「たない。 「た

「無順」古城子鷗天崩緩破ボーリー 大井ルトの電流に感覚したてこれを振ったころ被覆破損のため二百二 州市北ルトの電流に感覚したて作

対 カのシミ込む

陽やけのお肌に

日掛 迅速放出 迅速放出

治 発展店・食料品店にあり 電話五八四九番

大連市龍田町百十五億 盛 社

市内聖織街積善施灸所市内聖織街積善施灸所等疾にて御風りの方來れ無料施灸病疾にて御風りの方來れ無料施灸。家傳お灸。家傳お灸

る課題とでは、 を課題とでは、 を課題と、 を課題と、 を課題と、 を課題と、 を課題と、 を課題と、 が、 は一個など、 は一のなど、 は一のなと、 は一のな

一行の來鐵

0

期軍人分會及警察

十豫四習

の簡関

手荷物か 美人の盗み 點鞍山

勇士の 小腰後で行はれるさ 間番の便宜上輸駐動 間番の便宜上輸駐動 は出午後五時三 合成が数せられ

慰靈祭

これで大丈夫・安心だ

心おきなく泳げ泳げ

外交

本人來談か乞ふ

信用 貸金御相談: 應す (西廣場交番裏通角) 際見社 (西廣場交番裏通角) 際見社 西週十七番地 (西南場交番裏通角) 際見社

あごにメンソレータム

字字 入用十三、四歲位優遇了 向陽登三四安藤電二一八九三番 人大正通九九仙臺納豆 菊地商店 大正通九九仙臺納豆 菊地商店 大山通 "秦城"本入來談 大山道 "秦城",

たい泳げ

愉快に泳げ

フョ 品 書画骨質で 電七四三五 高價質で

派遣

連多竹。會員至急募集 連續一丁目三四六 整續第一丁目三四六

不用 品高價質受ます

不用 品親切本位置受

一切納人附続通動住込何れる

世界の家庭

藥

古着 特別高價質受ます
日隆町エピュス層電話二二五九五
日隆町 報 象 1

四四九一番です

亚三拾錢增

日案内 子供 大山道ナニア樂器店 電話ニーニ六二番 電話ニーニ六二番 貸衣 裳 日陸町 三浦屋

日族町 さかいや電五四三七番 電話二二六四五番 用品賣買

電話三九七一番

日朝・天帆高級御化粧紙は 伊勢町ノ

ハリ 鍼接マッサージ御用の

TE

治療お望の方は

電話六六八八番へ

西公園町六九 四天 西公園町六九 四天 西公園町六九 四天 西科 野院 クリ ーニングは 町福音洋行響 電ベニー六

州内北部の

の整数も高調するものと思ばれる の整数も高調するものと思ばれる

日滿庭球大會

吉林の催し

待望の四地

庭球戦迫る

十六日より開原で

原軍は義器にも携まず連日猛練智

鶏冠山盛夏の催し

「黒冠山」滿州事態以來目夜就をが聞えて來遊花氏在線時代の就金 「黒冠山」滿州事態以來目夜就をが聞えて來遊花氏在線時代の就金 「黒記山」滿州事態以來目夜就をが聞えて來遊花氏在線時代の就金 「黒記山」滿州事態以來目夜就をが聞えて來遊花氏在線時代の就金 「黒記山」滿州事態以來目夜就をが聞えて來遊花氏在線時代の就金 「黒記山」滿州事態以來目夜就をが聞えて來遊花氏在線時代の就金 「黒記山」滿州事態以來目夜就をが聞えて來遊花氏在線時代の就金 「黒記山」滿州事態以來目夜就をが聞えて來遊花氏在線時代の就金 た。

るので優勢全く降無つかす興味百 三四年間中止されてゐた催しであ 三四年間中止されてゐた催しであ

不全國書店にあり

大日本雄辯會講談社發行東京本鄉·振菁東京三九三〇番

報

『王子の狐』の一場面



す。老若男女誰でも面白可笑しく讀む中に、落語こそは日本獨特の藝術で、又日本文學の生粹で

術

一世交の秘訣をも會得する事が出來ます。常識を養ひ、人情の機微を知り、 綾織美裝凾入堂々六百頁

退屈知らず 本書品お忘れなく 面白さ!正に天下一 ら 有語の 精粋を 網羅 暑さ知らず に、温泉に Ho 1

劾 主 いたみを称げ 脚野 学の 産 筋乳神ら 肉の一種ち 痛り痛み

金田十銀 金田十銀 薬店に有ます 價

(番七○六四京東替振) 地番一十二町霞區布麻市京東

常に疲勞の正しき

解消からのみ喚起せらる

上以野重ってい頂流

\$

元

0

選

び

方

●品にならなばれば買すらたれ切。・品にるへ使。で中学家はは映物のるれば喜れてつ贈り 件條一第の品答贈 すで件以降了一第5の品以答:贈がれこ すでりよ何逆が

のけた機能ですまり限制にのもあけおの用き悩むたれ知いの値では品よる言でとらなる。 を品るけおの用信 すまりなにひ迷せか「機能先」てつ却にはのもいなら判じの値やのも

おめ質の東陸のでの様は先にんせまりなばればなでれ現る。心気流れのもり間で はにるけ層を心臓 うせまいざこで触ればな良料網の先れて一番と品といならなに駄を無いてつなにひ使る

・てけとけだる要では 王才花。 すまり限計に 王才花。 の位を教質に最近らな地域では てへ考に位本隊先 すまへ整計し美術が設力でしリバッサがとあたつ洗む ずせり減しい無い

てへ端された年記が4世方法をあてつなにめ決めおと 輸送石を王代本が ず必然はに元が中にお 品る決とれこ局結 すまいざこで継ぎ違うのりよ何であるてれば喜に機能先がれこ すでだっく行う

錢十三 凾 個 三

錢十六 凾 個 六 綫世圓一 函 打 一

一 函合詰王花 用物進御

%四·九九度粹純



美麗になる

送料二十七銭

ミトセ海綿白粉本舗



阪大•會商瀨長社會式株鹼石王花•京泉

は

法滿第一回戦(第五回表(法教)原口生

「本天電話」を天の表別に添く職」するのでこの分では本年は例4の」で関係監局では新渡済者に對し特別すれて、要を思考百七十一十倍の新記録を作るであらうさ言。「能生上の注意を製造するやうに別して四日までに要を思考百七十一十倍の新記録を作るであらうさ言。「能生上の注意を製造するやうに別すれていません。」で関係監局では新渡済者に對し特別では、大きには、「本天電話」を天電話」を天電話」を表現して、「本子電話」を表現して、「本子電話」を表現して、「本子電話」を表現して、「本子電話」を表現して、「本子電話」を表現して、「本子電話」を表現して、「本子電話」を表現して、「本子電話」を表現して、「本子電話」を表現して、

昨年一ヶ年に比し既に五倍

奉天市民青くなる

愈よ暴る

東京十四日發國師旁蓋自等を以て組東京十四日發國通】大日本生産

に送験部専組織につき文部管局され可数となった、松井總長は今明日中に東上し飲々交部省に正式に関係を設定した。

血盟團事件

公判

が審理に先ち 京大問題の 今後の措置

既定方針で

1で法政惜

選監手督

高吉 津重 木丸 島岡

大連流鐵車

の措施に就きたの報告を為し各職 進む

無同模被告會議を許され

並れ、 烟廳(島)三氏 散塊 お歌 光 一 画戦 は十四日午後四時三十分よ 一 画戦 は 一 四 戦 は 十四 日 午後四 時三 十分 よ 一 回戦 は 一 四 戦 は か は か よ 全三側 法政倉三版若林二飛伊藤 ・ 遊匍▼滿風柴原四塚に出で水澤 ・ 近半線で「風者生き山下打者 の時捕手」量定者を楽制する間 ・ で発展三姿とたが山下遊匍とて ・ で発展三姿とたが山下遊匍とて

契税の

ら一画餘りの金をさり出して 十餘りのお婆さんが財布の中か

店にあり お地文具

ンボ鉛筆製作

「今日は大變ためになるカッド

撤廢方申請

奉天商議か

さい」さ入口に立つて居った婦とですがお國のために使って下してすがお國のために使って下

巡洋艦ケルーン號

きのふ堂々ご入港

滿俱 000 010 000 12A

【奉天電話】 満洲國政府は樹田智 土地に黙して契税百分の五と登記 料千分の五な機敢する旨を制定し 教育子の五な機敢する旨を制定し

告げずに立去った。

保管局を指載中であるさの回答が 場像管局に电離したさころ特殊部 はリ十三日前で右は原承しは下臘

ル二人を連れたある奥さんが映 第二日の夜は可愛らしい坊ちや

「全夜は大變子供のためにな

一 南郷等を正式訪問することとなつ 神佐以下事僚に民政器、市役所、

日午前九昨半城勝少塩内浮標に繋で、十四日一夜な渚外で明じ十五十四日十夜のまりアンカーを下した。十四日一夜な渚外で明じ十五十四日一夜な渚外で明じ十五十四日一夜な渚外で明じ十五十四日一夜な渚外で明じ十五十四日

た、ドイツ軍艦の大連正式訪問は た十七-『は同じくドイツ領事果道 のもさに記順に武職長官』訪問は

神野少尉以下七十八名

漸京中央觀

変し満足げに贈って行った。 と一個の分さして取って行った。

七月上旬着工

第三夜 概覚能の一隅で だ、われらの膨胀は縮石に立 だ、われらの膨胀は縮石に立

第五、世界一般市場の信用如何第三、軸の輕快且つ合理化如何第三、軸の輕快且つ合理化如何第二、金ペン書味の不變如何

¥.2.00,x=

「新京電話」新京中央観察所の 地は南郷を決定したが七月上旬よ ・さになり観測所型には朝館港 することに決定し同氏は七月上旬よ することに決定し同氏は七月上旬よ することに決定し同氏は七月大春で

それで職合會戦事の婦人たちといら私塾の仕事は歌

捧げんと熟熱な市民は横々詰めか

を繋げ名巻の戦闘に締々れる武艦する日本の勇士神野工兵ル尉以下七七人の本に包まれて内地へ凱旋する場の戦闘を受け今は縮々

名譽の戦傷勇士 0

きのふ内地へ 凱旋



者に煩ひされ抱機せる女から舌臓接吻の法院三眼線の中不意の使人

もない数が出て來るわけである

この暑さに

一萬九千五百六十分、その電極とた一無の影覧に二十二萬三百九十分、その電極とた

的ナンセンス

燕の害虫退治

(可認物便郵種三第)

十字架壁の燈籠か作り、お祭りこ 又珍燈籠現はる

、邊道は時ならぬ混亂振り

日以來の討匪行

酒井部隊

臨江に入城

安義市民威謝

が、要求し続き人間も被告会談とない。 一き渡り合つたが裁判長は「後で を入よう」さはづし十時十分幅く 者へよう」さはづし十時十分幅く 本海運動に投するに至った 革命運動に投するに至った。 本された。 資本主義社會の頭落を痛悪し微 籠が又一ツ後賀駅虎姫驛前に養見たさ言ふ、いはゆるキリシタン燈

南の紹介で日蓮宗に興味を感謝里茨城縣に歸つてから黒澤、

館を通じて感謝の意を表して来た た幾は全部下注すること、なった ので装束新嚢州の住民は非常に感 が、は、なった。

日五十月

36、これ等康城戦も日満極軍の計画行は左の通り、これ等康城戦も日満極軍の計画行生を成の中におり今や全く数のではかられば、あるが十一日以来の各地においるのでは、100円におり今で登録している。これ等康城戦も日満極軍の

見透しがつく

警視廳の取調進捗

大日本生產黨事件

七

見たがその夢に會つた和尚は日「日螺を變けられたこと耐霊五人組」緩行するじ日連の命日二月十六日夜夢を「メ大見得を切り、日召から日正の「緩行する 校は親交を結ぶに

国に真り調査の結果市内西公園川 関に真り調査の結果市内西公園川 送つて来た、同署保安保で管内一 兼は、父の生存中で では、父の生存中で では、世界で

京大法學部の閉鎖

から出 住友

大連市中軍

松本

松井新總長匙を投ぐ

H

(**)の長男療治れ(**)は今から八腔兒鳥轍大島都龍神村前田清治郎 出来る新機械デフェクト・スコーら鉄道レールの内部的観製ル鉄見 ではつてゐるが

子を探す

クロードネスト

高橋上本橋友田

大連婦人際優 で上映中のオ

が近に又感搬の来か降くも感じな人氣を燥り連日滿夏の盛況でな人気を帰り連日滿夏の盛況で 「非常時日本」

断治群を抜く トン ノボ鉛筆 事务用高級色鉛筆

東郷ホテル齊と「便利好しれべてに便利好し 東郷旅館電話八一六七家室ベランダ附完備 電話七六七番 新馬路

直 本 日 新敦大

七月十九日午後四時 廿五日早朝一泊 大連汽船株式會社 光一三 大五五敦 賃 圓圓質 八〇新

御申越次第相場表見本帳呈上四鏡切手封入の事

一〇二般名=さいひ長崎市機馬の から検査値で施行された観兵検査 から検査値で施行された観兵検査 から検査値があた検査した處舌機 最近父は老衰で 長崎恵兵分遺隊 も左の事代が 常山縣の線の意味では毎年紙の後、紫泉がた調査せらめてゐるが昭和

實滿軟式庭球戰

スキー

吹風凉

病床に横はり毎日のやうに滞治君じて暮してあれが最近父は老妻で

| 京三ス、コートにおいて撃行、 | 本年度は従来 一上の整備を見、断然 ー射撃小、大會を春日池射撃場で での賞品あり高點者には優勝カ での賞品あり高點者には優勝カ ップがある

魔を来る十六日午前九時より

ナンバー交換の結果左の如く決定 ・ 大の日午後一時より本社樓上にお ・ 大の日午後一時より本社樓上にお ・ 大の日午後一時より本社樓上にお

杉浦忠雄氏 愛媛縣人會は 北京希望者は電話三一一に申込 まれたいと會費三圏

水るよう説代で

取油 本紙七月十日附朝刊三面所載新開河工事に終る不正事件に所載新開河工事に終る不正事件に開する記事に對し右の關係者吉川康氏より十四日左の如き取消申込みがあつた 七月十日附貴紙朝刊三面所最新七月十日附貴紙朝刊三面所最新開河に關する記事は絶對にその開河に關する記事は絶對にその開河に関する記事は絶對にその問題が表現。 の商標と倒指定下さい (並型の外に大型もあり)

他品の三倍もつ 020 お臺所の常備軍 西尾商店

◎テイーダンス會(毎水曜日) 金一圓五十錢

◎アフターデナーダンス會(毎土曜日) 定例社交舞踏會へ!今宵は是非! 星ケ浦ヤマトホテルの 並に

◇臨時バス 常日は常盤橋バス前=星ケ浦西門間午後大時中より十分叉は消員毎に◇煙火は――霞半島 ◇映寫は――ホテル下海岸

星ヶ浦納凉打上煙火大會 星ケ浦=常熱橋間八時中より十時まで、料金片道金十五銭

七月十五日(土曜日)

同 九時半まで

公

ますとし深い地震に起か踏み込む

優美な進物用化粧函・詰合函を御利用下さい

販賣所

酒店、食料品店、藥店、百貨店

